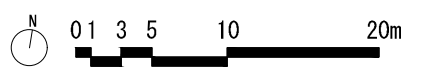
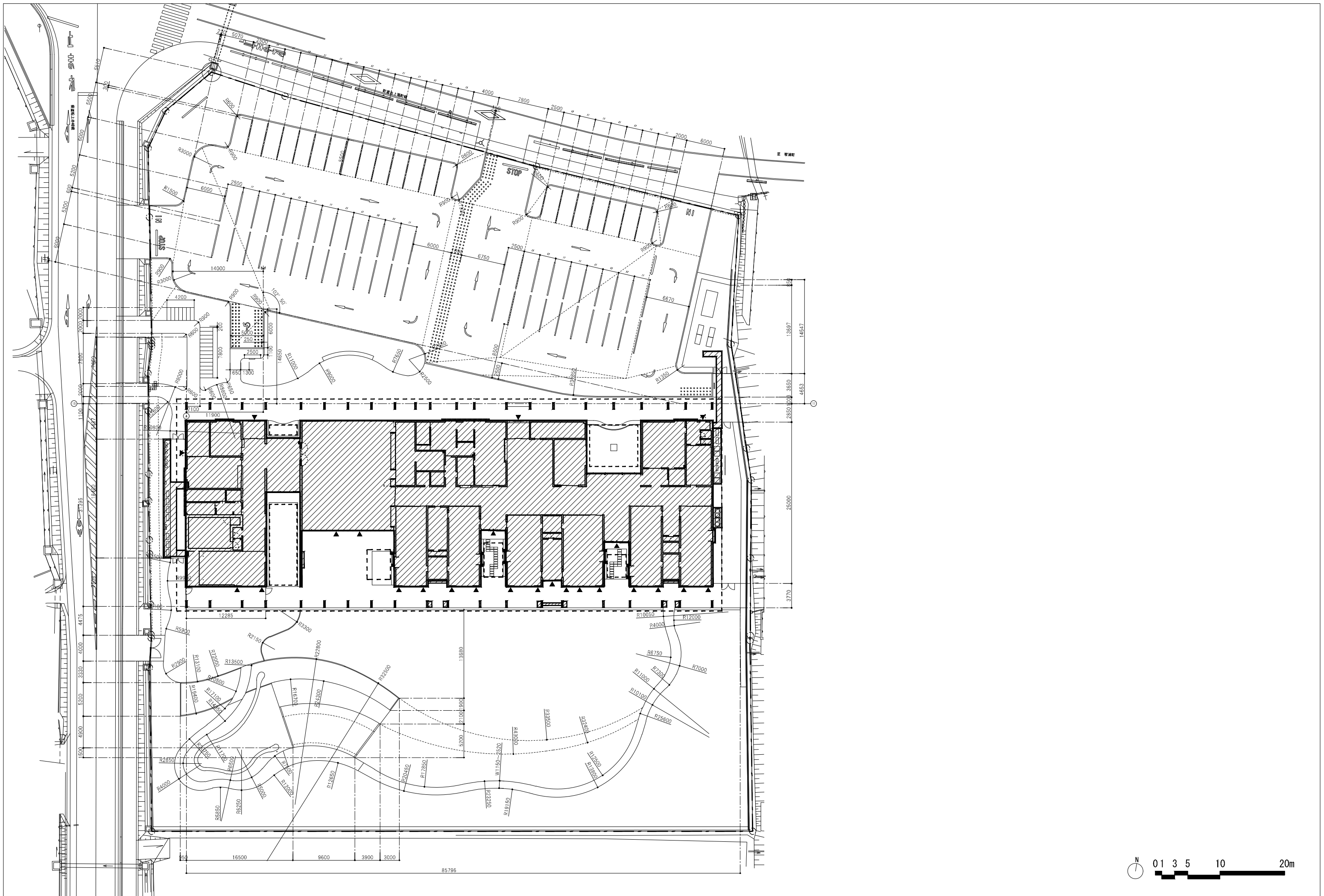


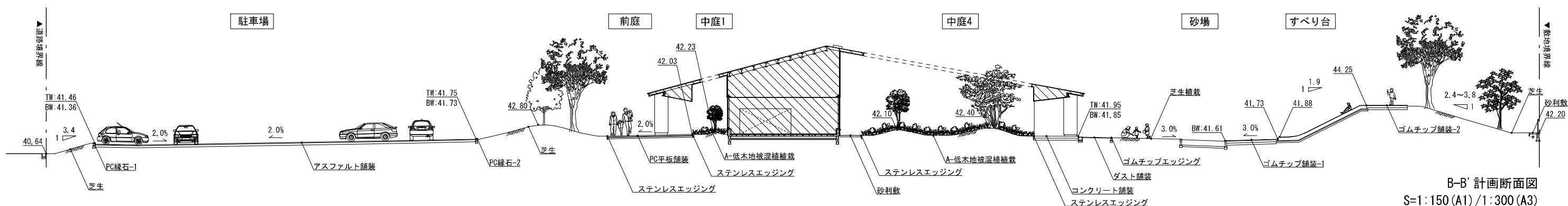
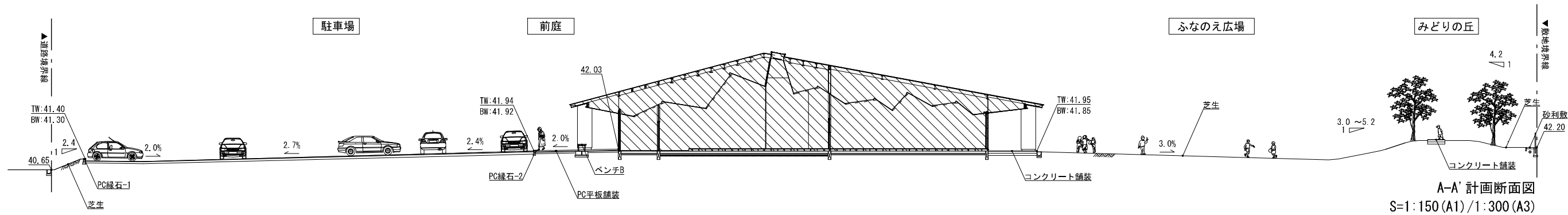
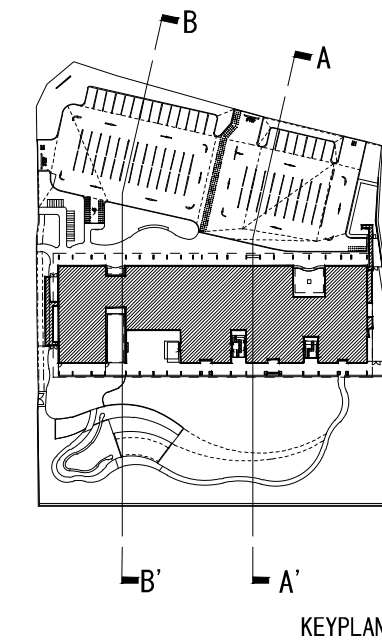
進入路まわりの構造物を含め地盤レベルは、行政・関係機関との協議により変更になる可能性があります。

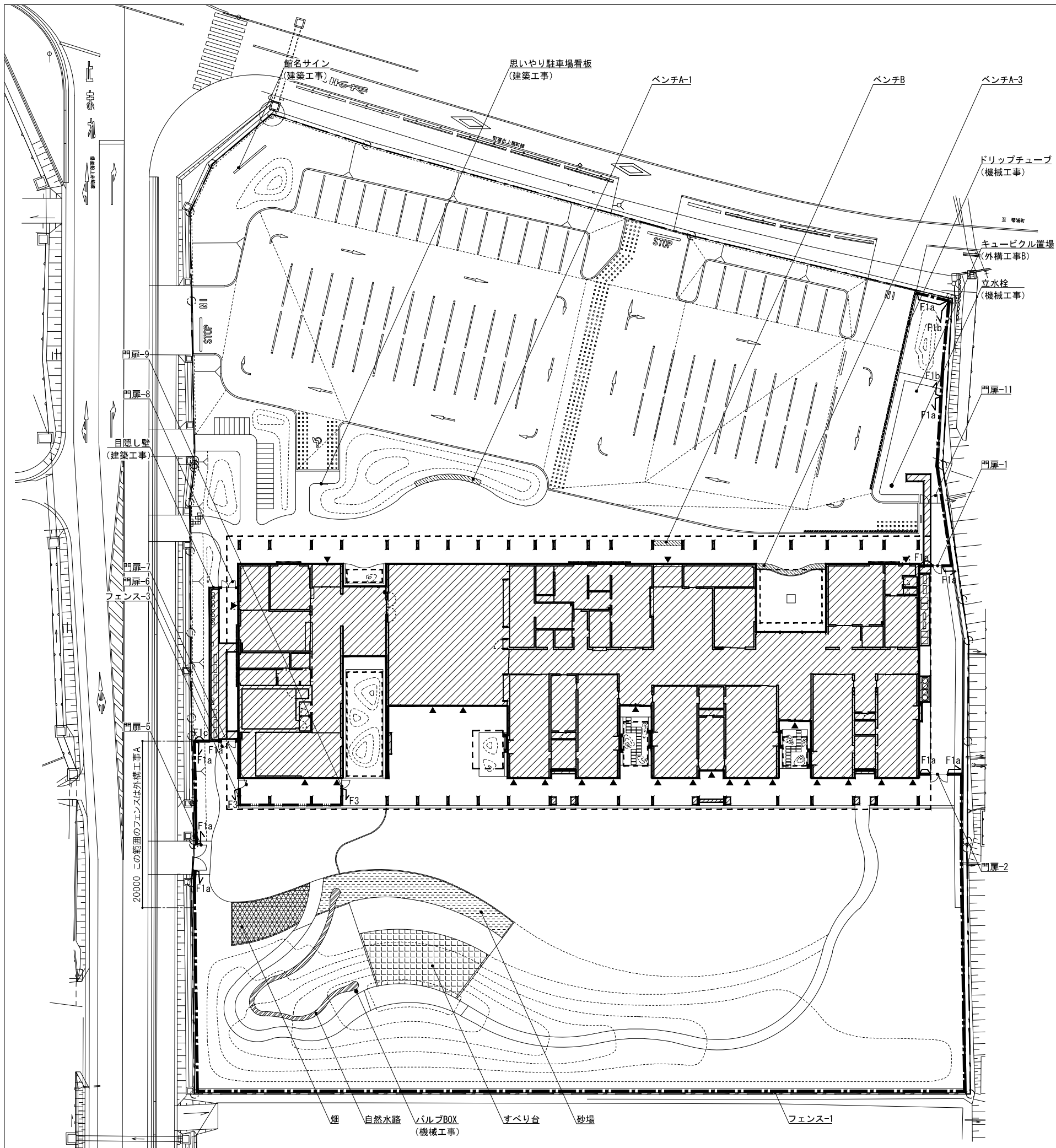
- 工事区分
 外構工事A: 本工事
 外構工事B~D: 別途工事
 ※盛土-1~10は外構工事Bとする

- 図中のレベル表記は以下のものを示すものとする。
- | | | |
|---------|-------------|-------------|
| TC | 縁石上端部レベル | [斜線] 建築工事範囲 |
| BC | 縁石下端部レベル | |
| TW | 壁上端部レベル | [白] 建築外壁ライン |
| BW | 壁下端部レベル | |
| FT | 現況の樹蓋の天端レベル | [点線] 底ライン |
| (0.00) | 現況レベル | |
| (※0.00) | 現況から算出したレベル | |
| 0.00 | 計画レベル | |







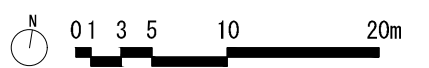


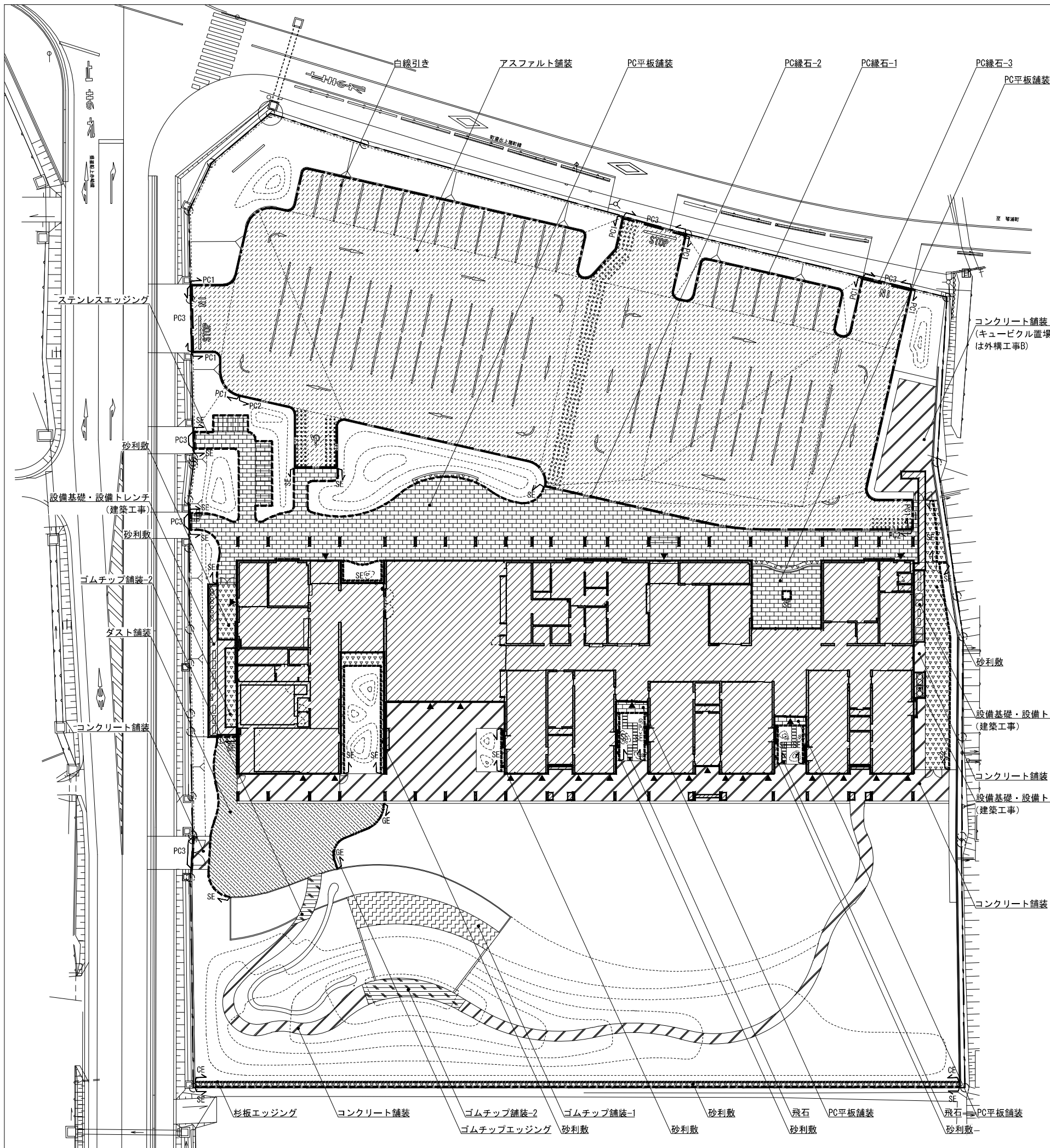
■施設凡例

凡例	名称	仕様	備考
	すべり台	H2500 W9900~16300 すべり面:表面左官(指定色)t20 人研ぎ仕上げ 側壁:高度造形モルタル(指定色)人研ぎ仕上げ 基礎:現場打コンクリート 均しコンクリートt50、砕石t100、配筋	外構工事B
図示	ベンチA-1, 3	W600 H400 現場打ちコンクリート打ち放し仕上の上フッ素樹脂塗装、捨てコンt50、砕石t150、配筋	外構工事A
図示	ベンチB	W600 H400 座面:PCカラーコンクリートt50 骨材研磨仕上げ(指定色)、脚部:SUS角鋼HL仕上げ、コンクリート基礎、捨てコンt50、砕石t150、配筋	外構工事A
図示	門扉-1	H1500 W1000 片開き扉 門扉:菱形金鋼、上下銅線、フランス落とし、鍵用金物共 捨てコンt50、砕石t150、配筋	外構工事A
図示	門扉-2, 5, 6, 8, 11	H1500 W2000~3000 両開き扉 門扉:菱形金鋼、上下銅線、フランス落とし、鍵用金物共 捨てコンt50、砕石t150、配筋	外構工事A
図示	門扉-7, 9	H700 W1000 片開き扉 門柱:スチール製角鋼管溶融亜鉛メッキ仕上げ 門扉:スチール製溶接金網口100、フランス落とし、鍵用金物共スペース 捨てコンt50、砕石t150、配筋	外構工事A
F1a, F1b, F1c	フェンス-1a, 1b, 1c	H1500 柱:スチール製角鋼管溶融亜鉛メッキ仕上げ 面部:菱形金鋼、上下銅線 捨てコンt50、砕石t150、配筋	外構工事A(南西側20M) 外構工事B(その他)
F3	フェンス-3	H700 柱:スチール製角鋼管溶融亜鉛メッキ仕上げ 面部:スチール製溶接金網口100 捨てコンt50、砕石t150、配筋	外構工事A
	煙	枠:H100 現場打ちコンクリートゴムチップ仕上げ 砕石基礎 土:畑土t400 砕石t120	外構工事A
	砂場	枠:H100 現場打ちコンクリートゴムチップ仕上げ 砕石基礎 砂:焼砂t400 砕石t120	外構工事A
	自然水路	W500 H100 現場打ちコンクリート玉砂利洗い出し仕上げ(皿型) 配筋 砕石	外構工事A

※雨水排水設備の構、配管等は別図を参照のこと

■工事区分
 外構工事A:本工事
 外構工事B~D:別途工事

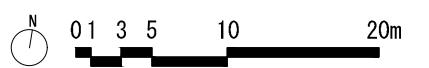


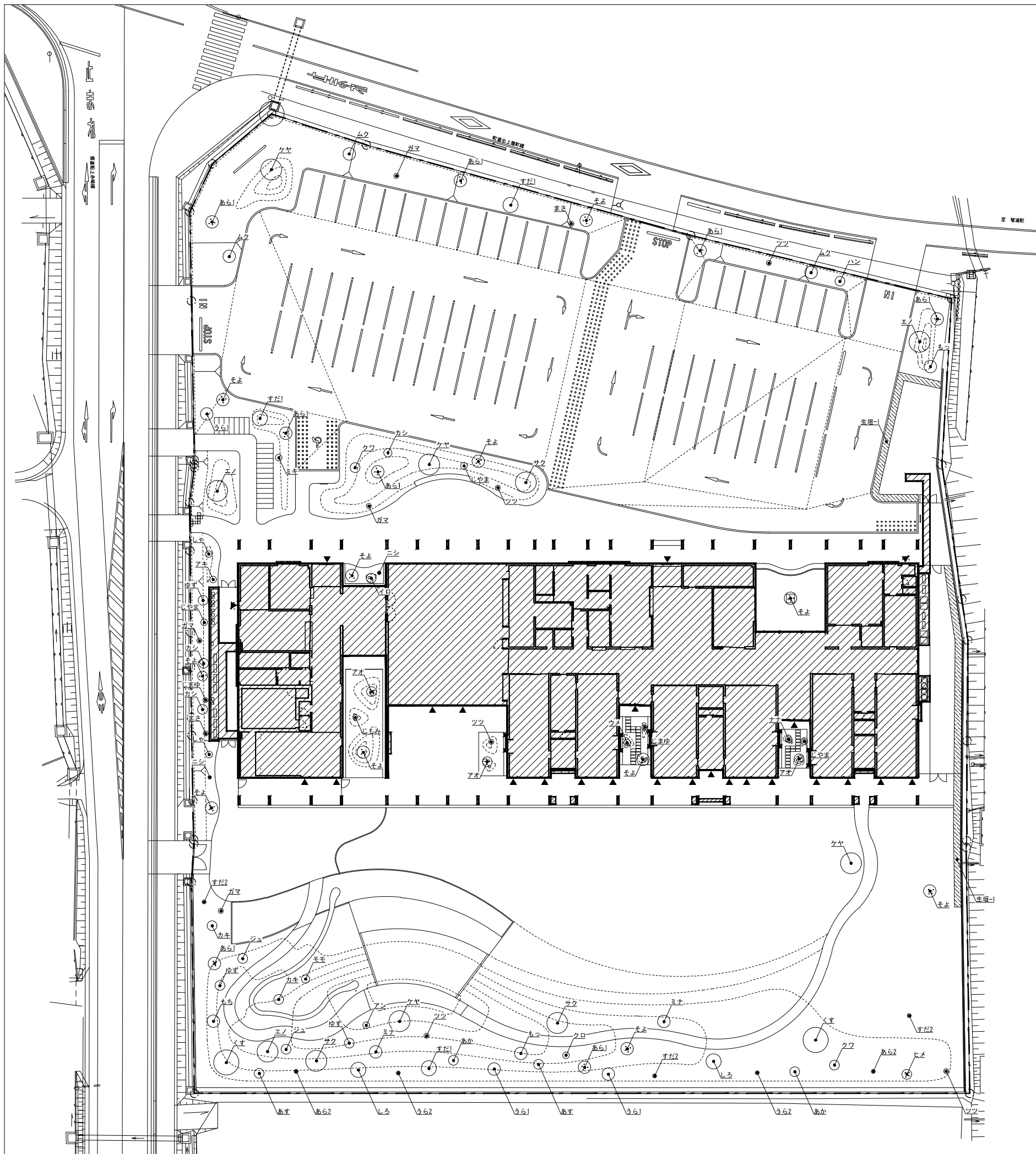


凡例	名称	仕様	備考
	アスファルト舗装	表層:密粒度アスファルトt50 プライムコート 砕石路盤t150	車面対応 外構工事C
	PC平板舗装	透水性PC平板骨材ショットプラスチック仕上げ(特注色)55×255 t60 敷き砂t30 砕石路盤t100	歩行者対応 外構工事C
	コンクリート舗装	コンクリート舗装ハケ引き仕上げ t150、溶接金網、伸縮目地@5000、 路盤:RC-40 t150	外構工事A 一部B
	ダスト舗装	石灰岩ダスト舗装	車面対応 外構工事A
	砂利敷	自然石砕石φ20-40 t100 透水防根シート	外構工事A
	ゴムチップ舗装-1	カラーゴムチップ(指定色)t10 クッションゴムチップt30、プライマー コンクリートt150、溶接金網φ6t150、路盤:RC-40 t150	外構工事A
	ゴムチップ舗装-2	カラーゴムチップ(指定色)t10、プライマー コンクリートt150、 溶接金網φ6t150、路盤:RC-40 t150	外構工事A
	図示 飛石	擬石コンクリート平板300×600×t60、モルタルt30、コンクリートt150、 溶接金網φ6t150、路盤:RC-40 t150	外構工事A
	SE ステンレスエッジング	ステンレスエッジ H100 アンカー留め@400	外構工事D
	CE 杉板エッジング	杉板:t30mm H100mm 杉板角材@450	外構工事D
	GE ゴムチップエッジング	カラーゴムチップ(指定色)t10、躯体:現場打ちコンクリートt100、配筋 RC-40 t150	外構工事A
	PC1 PC緑石-1	コンクリート緑石150×200×L600 立ち上がり100mm、モルタルt10、 コンクリート基礎t100、砕石t100	立ち上がり高さ100 外構工事C
	PC2 PC緑石-2	コンクリート緑石120×120×L600 立ち上がり20mm、モルタルt10、 コンクリート基礎t50、砕石t100	立ち上がり高さ20 外構工事C
	PC3 PC緑石-3	コンクリート緑石120×120×L600 立ち上がり0mm、モルタルt10、 コンクリート基礎t50、砕石t100	立ち上がり高さ0 外構工事C
	図示 白線引き	溶融式 W150 IN/STOP/矢印サイン等含む	外構工事C

※全ての舗装は施工図を製作し、監督員の承認を得ること
 ※伸縮目地および膨張目地の位置については、位置出しを行い監督員の承認を得ること

■工事区分
 外構工事A:本工事
 外構工事B~D:別途工事





■高木凡例

凡例	樹種名	形状寸法			支柱	備考
		H	C	W		
高木常緑						
あか	アカマツ	4.0	0.3	1.2	八掛け支柱	
あす	アスナロ	4.5	0.3	1.2	八掛け支柱	
あら	アラカシ-1	4.0	株立 5本	1.5	八掛け支柱	
うら	ウラジロカシ-1	4.0	0.3	1.5	八掛け支柱	
くす	クスノキ	5.0	0.5	3.0	八掛け支柱、地下支持支柱	
すだ	スダジ-1	4.5	0.3	1.8	八掛け支柱	
しろ	シロダモ	5.0	0.3	1.8	八掛け支柱	
そよ	ソヨゴ	4.0	株立 5本	1.5	八掛け支柱	メス
もち	モチノキ	4.0	0.3	1.5	八掛け支柱	
もっ	モッコク	4.5	0.3	1.5	八掛け支柱	
ゆず	ユズリハ	3.0	0.2	1.2	八掛け支柱	
高木落葉						
アオ	アオダモ	3.0	株立 5本	1.2	八掛け支柱	
イロ	イロハモミジ	3.0	0.25	1.2	八掛け支柱	
エノ	エノキ	4.5	0.3	2.5	八掛け支柱、地下支持支柱	
カキ	カキ	3.0	0.3	1.2	八掛け支柱	
カシ	カシワ	4.0	0.3	1.2	八掛け支柱	
クワ	クワ	4.5	0.3	1.5	八掛け支柱	
ケヤ	ケヤキ	5.0	0.45	2.5	八掛け支柱、地下支持支柱	
ヒメ	ヒメシャラ	3.5	株立 5本	1.2	八掛け支柱	
ハン	ハンノキ	4.0	0.3	1.2	八掛け支柱	
ミナ	ミズナラ	5.0	0.3	1.5	八掛け支柱	
ムク	ムクノキ	4.5	0.3	1.5	八掛け支柱	
モモ	モモ	3.0	0.25	1.0	八掛け支柱	
サク	ヤマザクラ	4.0	0.45	2.5	八掛け支柱、地下支持支柱	

■中木凡例

凡例	樹種名	形状寸法			支柱	備考
		H	C	W		
中木常緑						
あら	アラカシ-2	1.0	-	0.4	添木支柱	
うら	ウラジロカシ-2	1.0	-	0.4	添木支柱	
しゃ	シャシャンボ	2.0	-	0.8	添木支柱	
すだ	スダジ-2	1.0	-	0.4	添木支柱	
まゆ	常緑マユミ	1.5	-	0.6	添木支柱	
もみ	常緑モミジ	1.5	-	0.6	添木支柱	
まや	常緑ヤマボウシ	2.0	-	0.8	添木支柱	
まさ	マサキ	2.0	-	0.8	添木支柱	
中木落葉						
アキ	アキグミ	2.0	-	0.8	添木支柱	
アン	アンズ	2.5	-	0.8	添木支柱	
ウメ	ウメドモキ	2.0	-	0.8	添木支柱	
ジュ	ジュンベリー	2.5	-	1.2	添木支柱	
ガマ	ガマズミ	1.5	-	0.6	添木支柱	
クロ	クロモジ	2.0	-	0.8	添木支柱	
ナナ	ナナカマド	2.0	-	0.8	添木支柱	
ニシ	ニシキギ	0.6	-	0.4	添木支柱	
ミズ	ミズキ	2.0	-	0.8	添木支柱	
ツツ	ヤマツツジ	1.5	-	0.6	添木支柱	

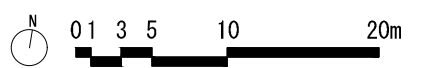
■生垣凡例

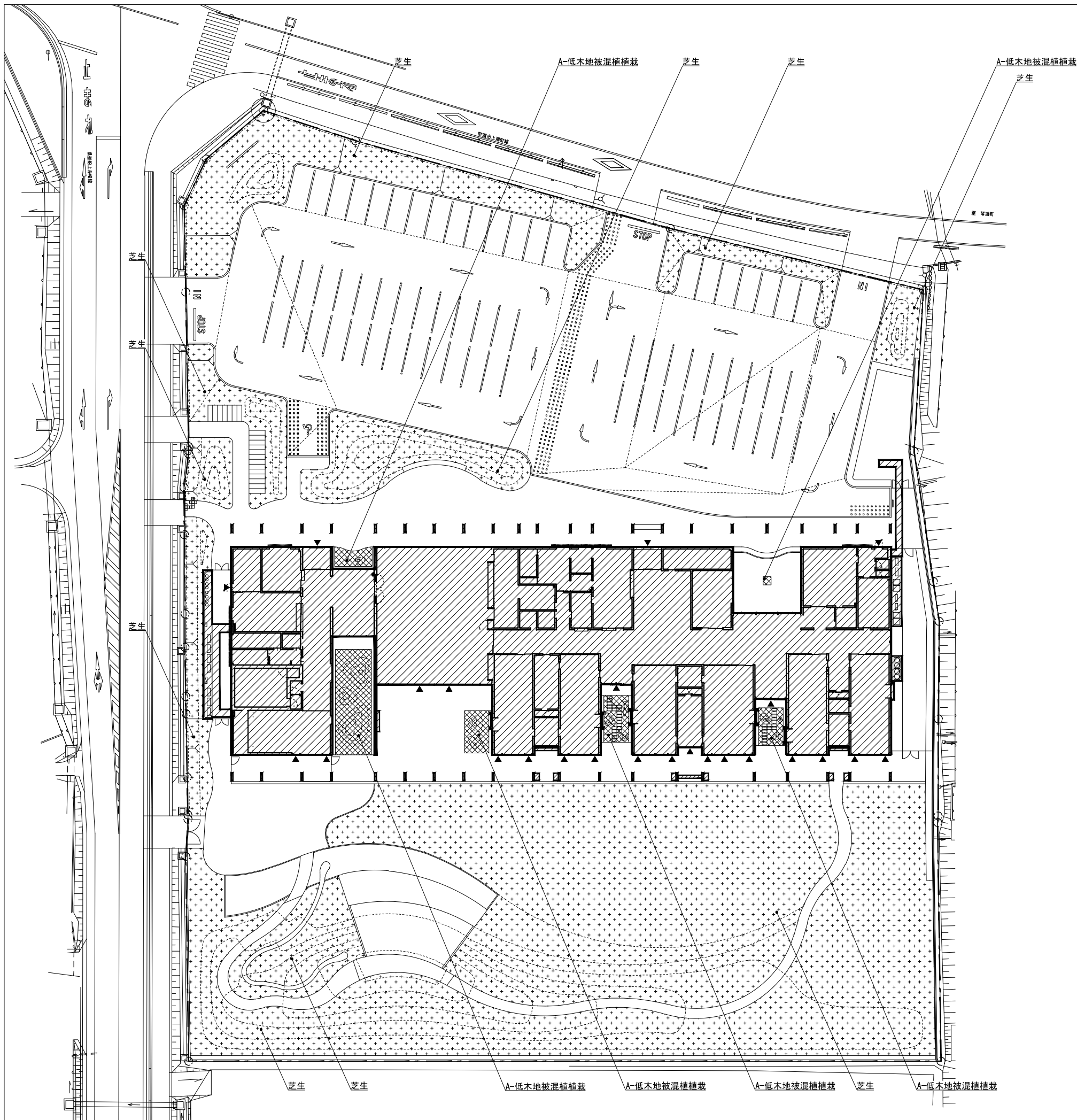
凡例	樹種名	形状寸法			支柱	備考
		H	C	W		
生垣-1						
混垣		1.2	-	0.3	生垣支柱	アラカシ:キンモクセイ:シロバナトキワマンサク: フイリマサキ:モチノキ=1:1:1:1:1 2.5本/m

※高木中木については、材料検査の前に裏表の写真提出を行い、監督員の承認を得た後に圃場検査を行うこと
 ※サクラ類は、防虫のため春先に根に薬剤を注入すること
 ※土壌試験においては、現場透水試験(長谷川式)、現場硬度試験(長谷川式)、室内試験(pH、土性区分、電気伝導率、腐植含有量)を行うこと
 ※樹木の配植については現地に位置出しを行い監督員の承認を得ること

■工事区分

外構工事A:本工事
 外構工事B~D:別途工事
 ※補栽は全て外構工事Dとする



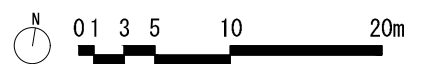


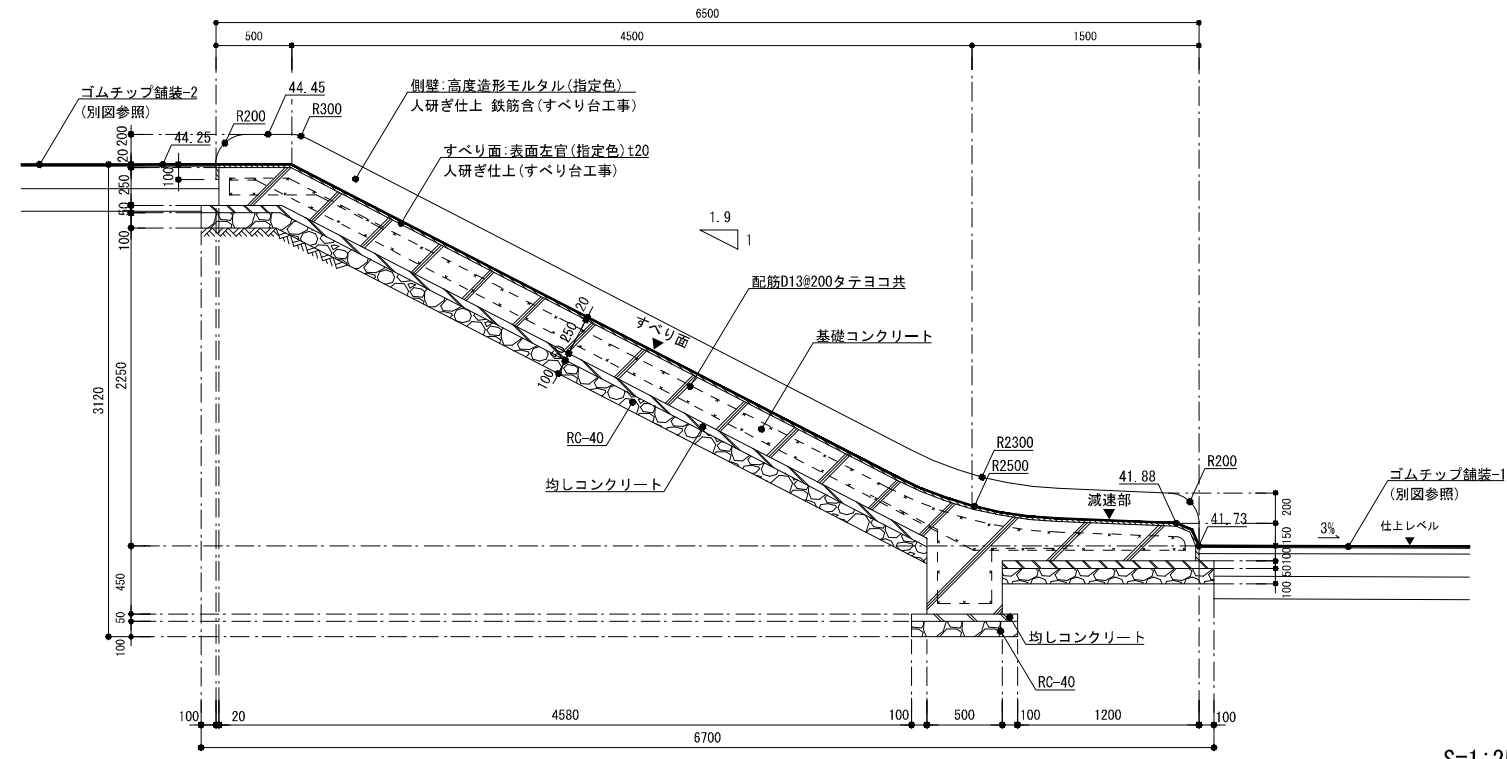
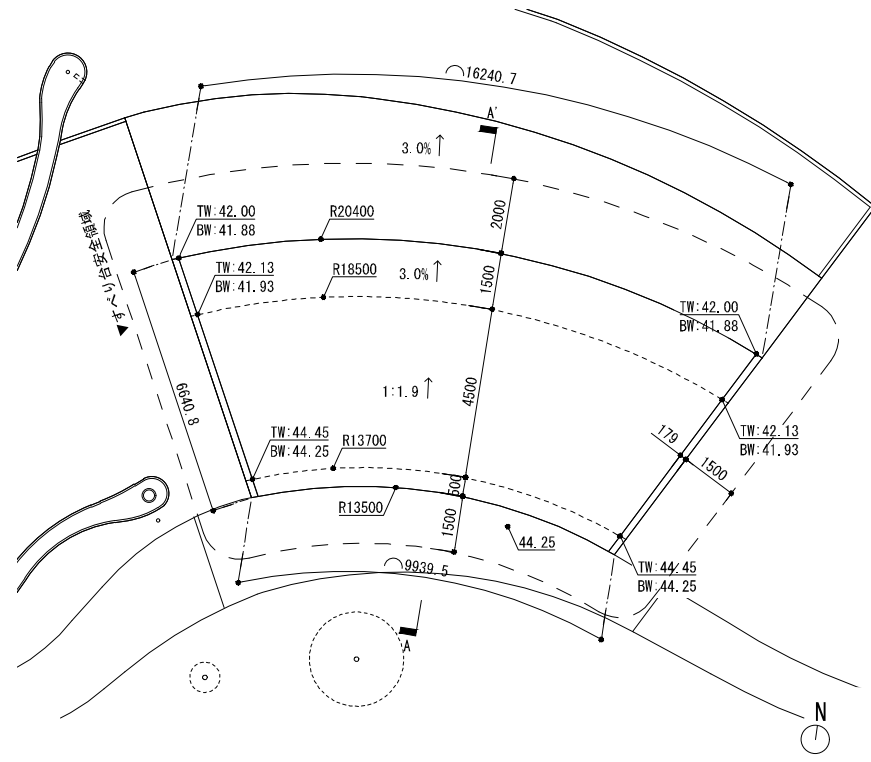
■低木・地被凡例

凡例	樹種名	形状寸法			備考
		H	C	W	
A-低木地被混植植栽					
低木	アオキ:ウツギ:クチナシ:シモツケ:ブルーベリー:ナンテン: ホソバヒラギナンテン:ムクゲ:ムラサキシキブ	0.5	-	0.3	=1:1:1:1:1:1:1:1 3株/m ²
	ジャガ:ジャノヒゲ:ツワブキ:ノシランビッタータス:ヤブラン	-	10.5 pot	-	=1:1:1:1:1 25pot/m ²
芝生植栽					
芝生		-	-	-	100%マット張り鳥取県産芝生、客土t200 ※芝生の客土は現場発生土を利用する

※雑草除去については、監督員に指示を得ること
 ※A-低木地被混植植栽、B-低木混植植栽に樹皮マルチングt20を敷設すること

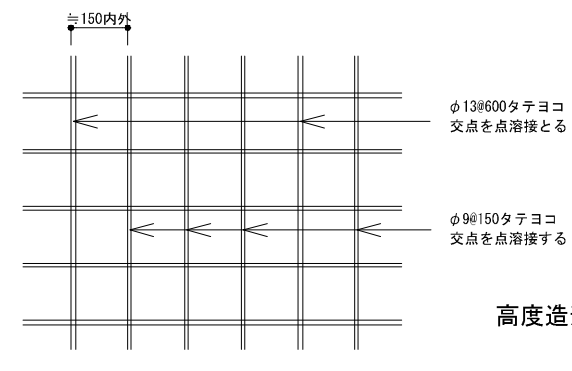
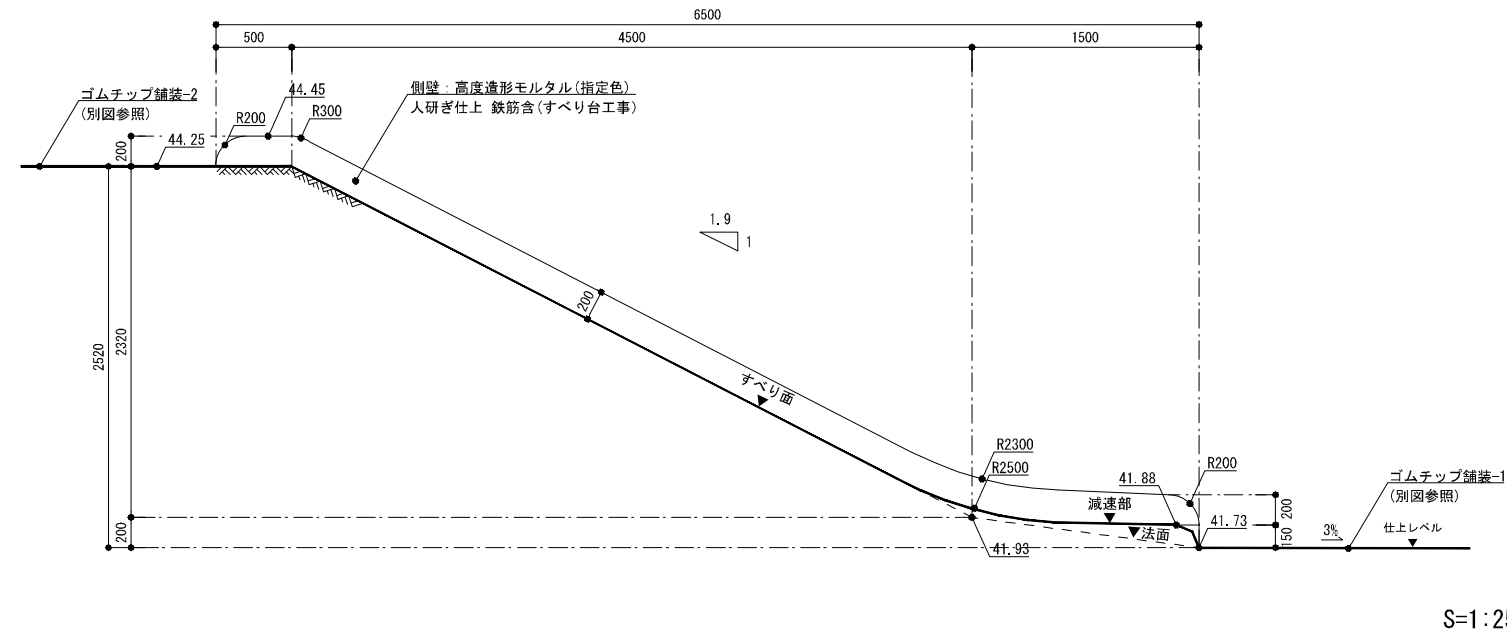
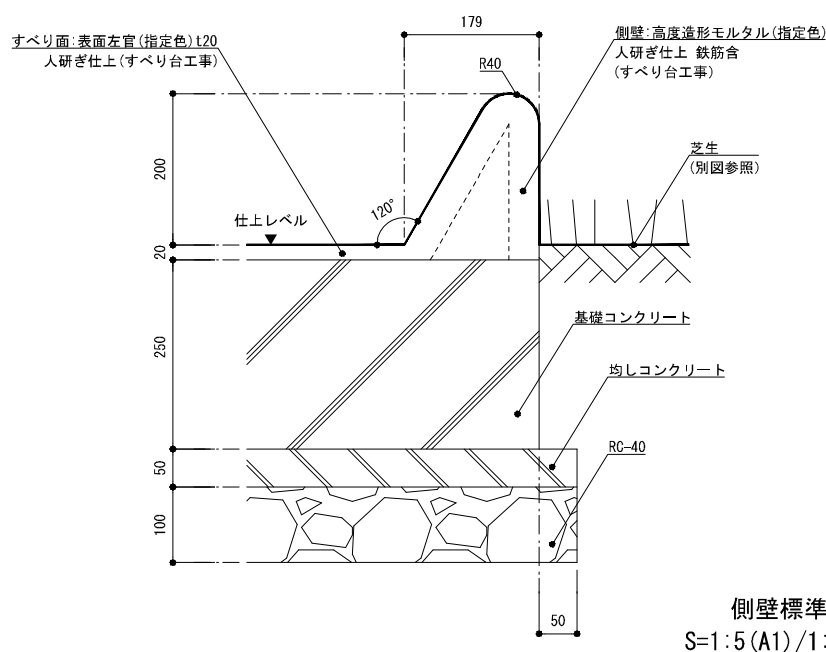
■工事区分
 外構工事A:本工事
 外構工事B~D:別途工事
 ※植栽は全て外構工事Dとする





すべり面

芝



特記仕様

■一般事項

- ※生産物賠償保険付きとする
- ※製品は株式会社アンス同等品以上とすること
- ※造成遊具の実績豊富なものが製作すること
- ※公園施設点検管理士、コンクリート技士が監修すること
- ※盛土はしっかり締め固めること
- ※碎石の締め固めは、ランマー3回つき振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締め程度とし緩み、ばらつきのないように締め固めること
- ※土被りは100mm以上とする。土被り100mm以上確保できない箇所が発生した場合は、盛土等にて処置すること(遊具別途工事)
- ※地耐力は50KN/m²以上であること。50KN/m²以上でない場合は、地盤改良を行うこと
- ※基礎は水平とする
- ※安全領域内は固い設置面、障害物、異物を設置しないこと
- ※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
- ※重ね継手 L1=定着長さ40dとすること

■斜面遊具

- ※本施設は「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」にある、現場打遊具が有する大勢が同時に遊べる機能を持つ、複合系の遊びができる施設である
- ※斜面遊具は、落下高さが低い。(落下高さは垂直落下のことである)
- ※両サイドに斜面が有る場合は、垂直落下するところがなく落下高さが低くなる)
- ※落下高さ600mm以下のため、遊具基準上ガイドバー等は不要としている

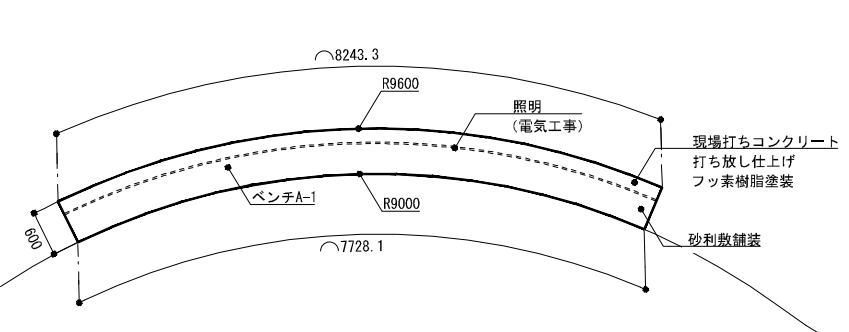
■高度造形モルタル製

- ※製品は、高度造形モルタル製とする
- ※株式会社アンス同等品以上とすること
- ※鉄筋造形にラス網を貼り、表面にモルタル塗りとする
- ※モルタルの配合等は監督員との協議による
- ※適宜ひび割れ抑止のため補強を入れること
- ※鉄筋造形と左官造形工の管理は、本工法による造形の管理を経験した者が行うこと
- ※工法の特徴を生かすうえで、安全性を損なわない限りにおいて美観を優先し、寸法誤差や表面の凹凸は認めるものとする
- ※モルタル(指定色)についてはサンプルを提出の上、監督員の確認を得ること

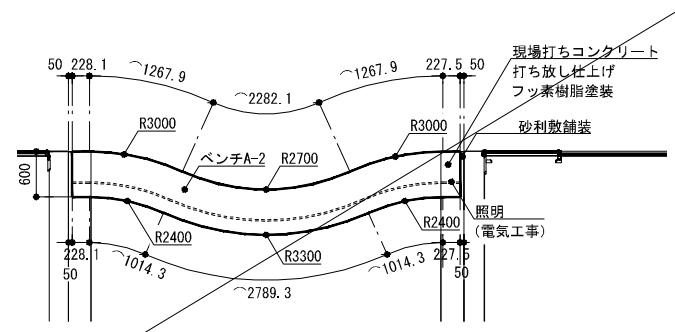
■目地仕様

- ※塗継ぎ等、適宜1~3mごとに目地を入れること

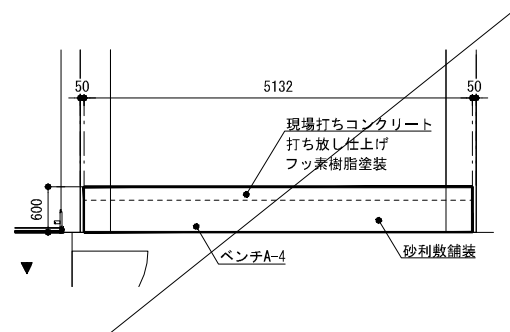
ベンチA-1 外構工事A



ベンチA-1平面図
S=1:50 (A1)/1:100 (A3)

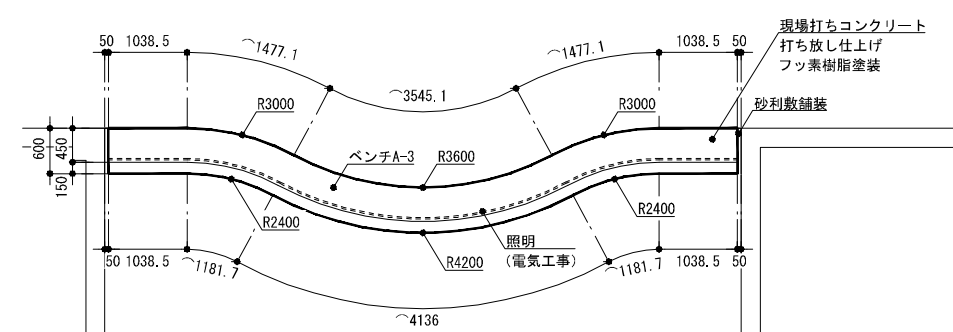


ベンチA-2平面図
S=1:50 (A1)/1:100 (A3)

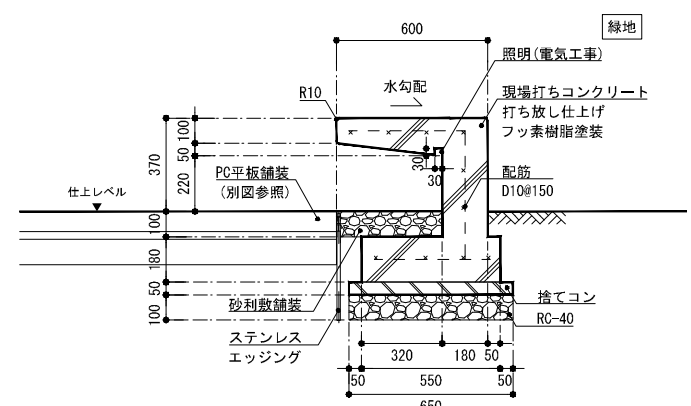


ベンチA-4平面図
S=1:50 (A1)/1:100 (A3)

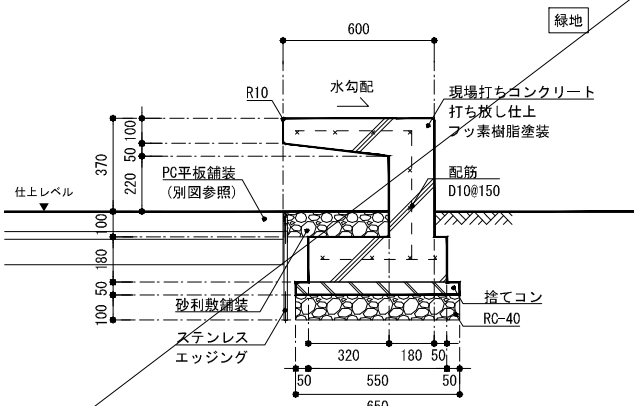
ベンチA-3 外構工事A



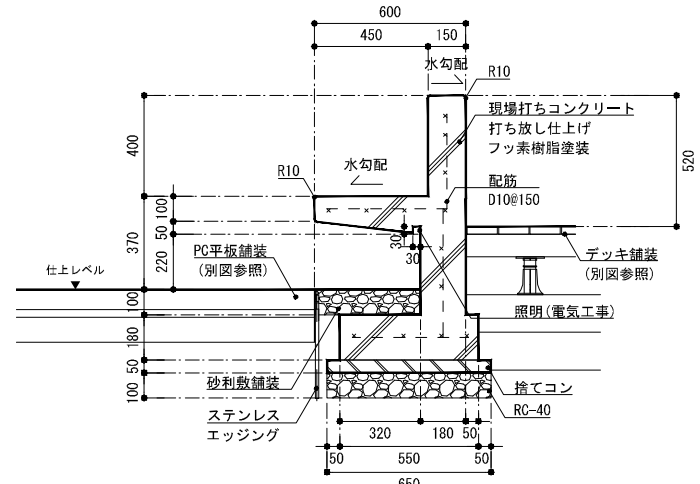
ベンチA-3平面図
S=1:50 (A1)/1:100 (A3)



ベンチA-1標準断面図
S=1:15 (A1)/1:30 (A3)



ベンチA-4標準断面図
S=1:15 (A1)/1:30 (A3)

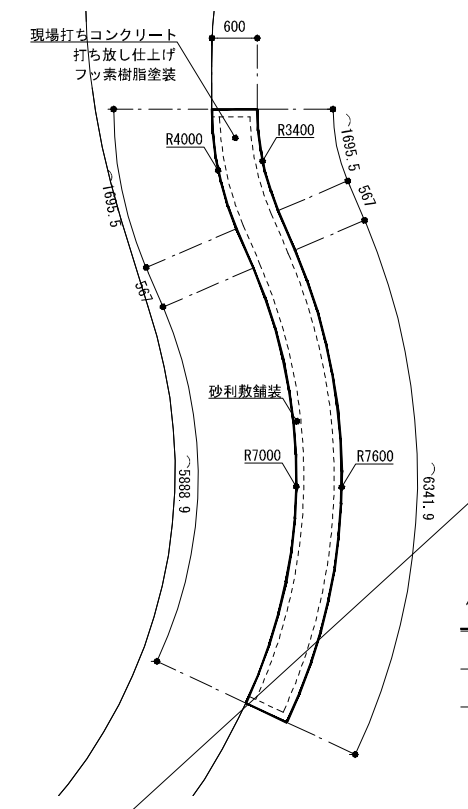


ベンチA-3標準断面図
S=1:15 (A1)/1:30 (A3)

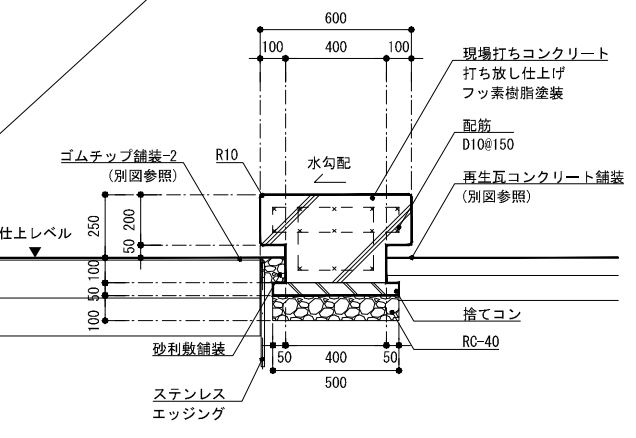
※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
※フッ素樹脂塗装について色サンプルを提出の上、監督員の承認を得ること

※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
※フッ素樹脂塗装について色サンプルを提出の上、監督員の承認を得ること

ベンチA-5



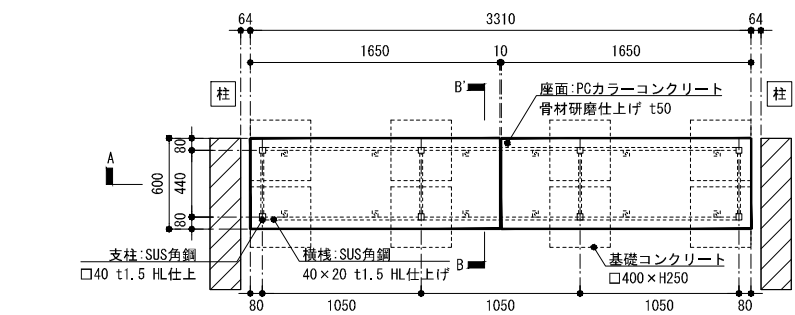
平面図
S=1:50 (A1)/1:100 (A3)



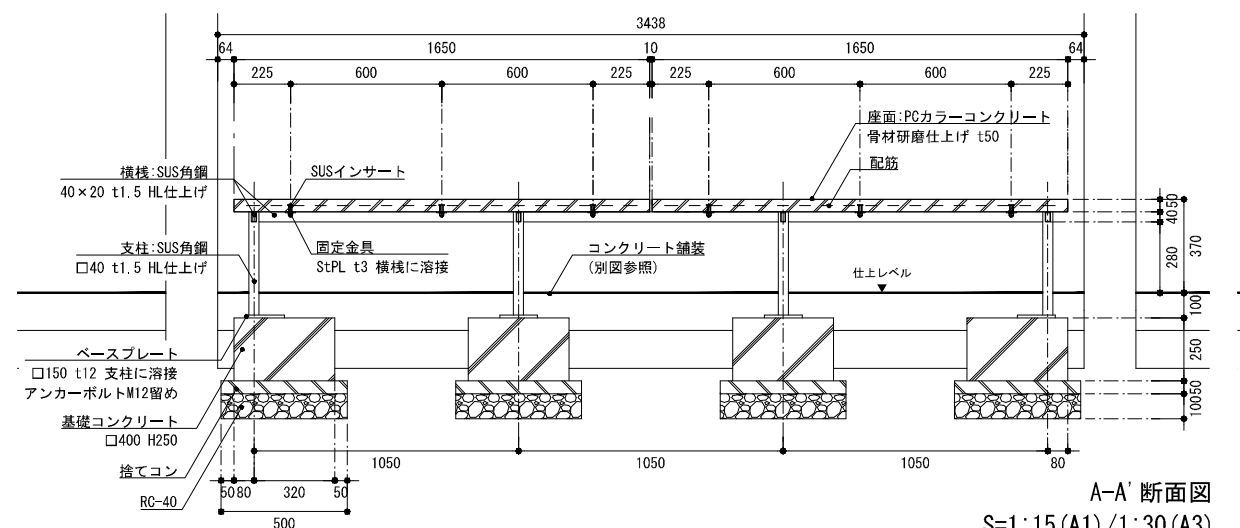
標準断面図
S=1:15 (A1)/1:30 (A3)

※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
※フッ素樹脂塗装について色サンプルを提出の上、監督員の承認を得ること

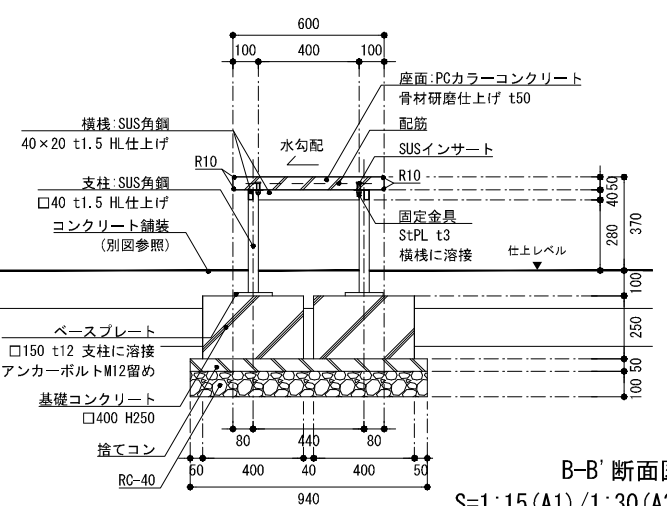
ベンチB 外構工事A



平面図
S=1:25 (A1)/1:50 (A3)

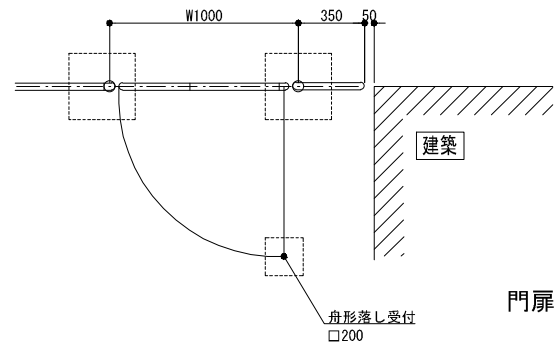


A-A'断面図
S=1:15 (A1)/1:30 (A3)

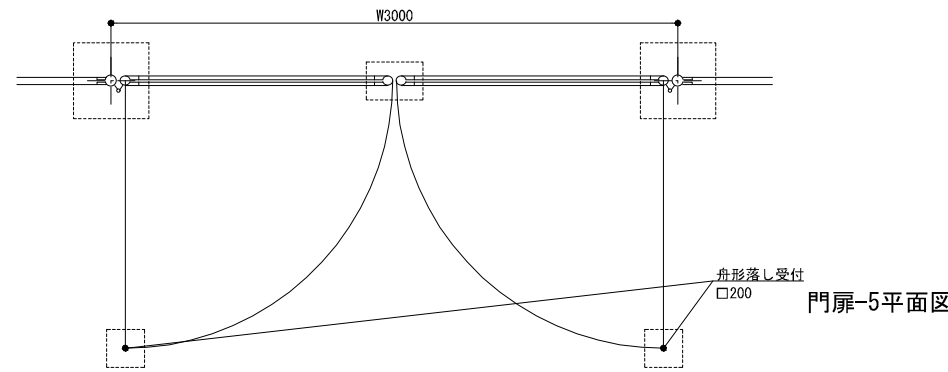


B-B'断面図
S=1:15 (A1)/1:30 (A3)

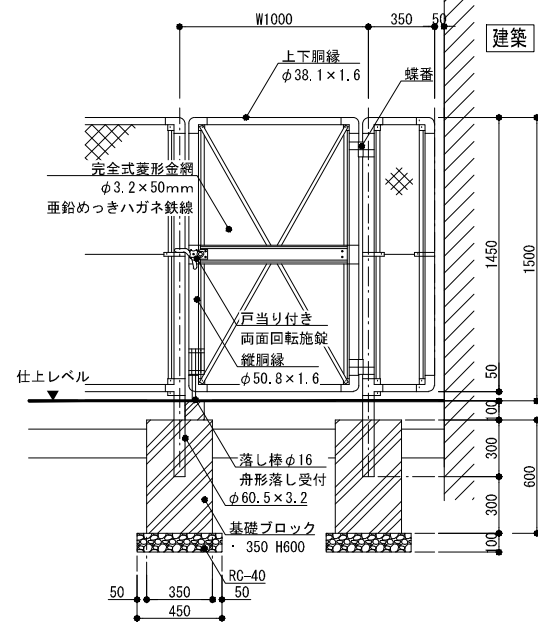
※PCカラーコンクリートは、那家コンクリート工業株式会社同等品以上とする
※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
※PCカラーコンクリートについて色サンプルを提出の上、監督員の承認を得ること



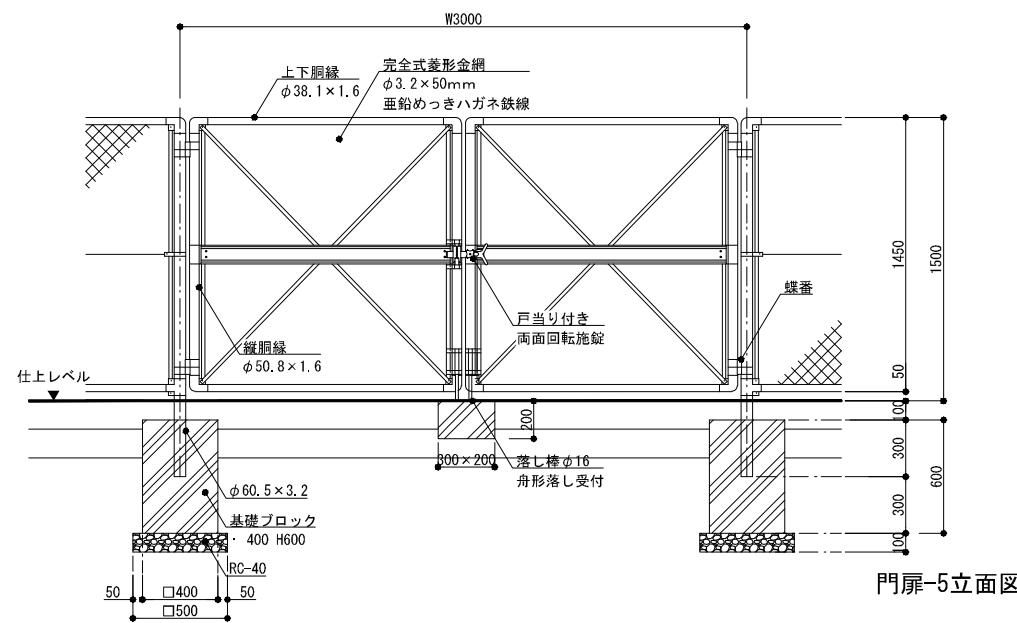
門扉-1,2平面図



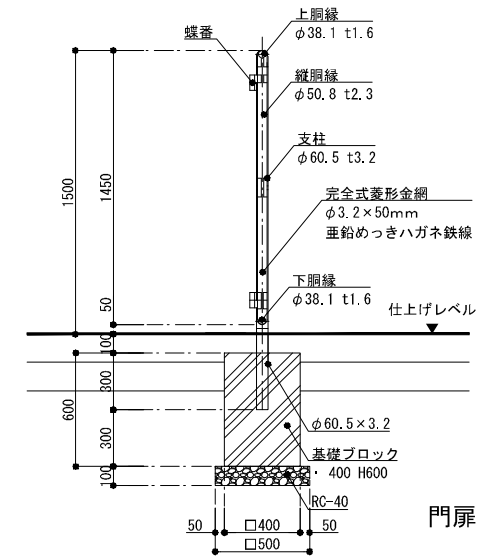
門扉-5平面図



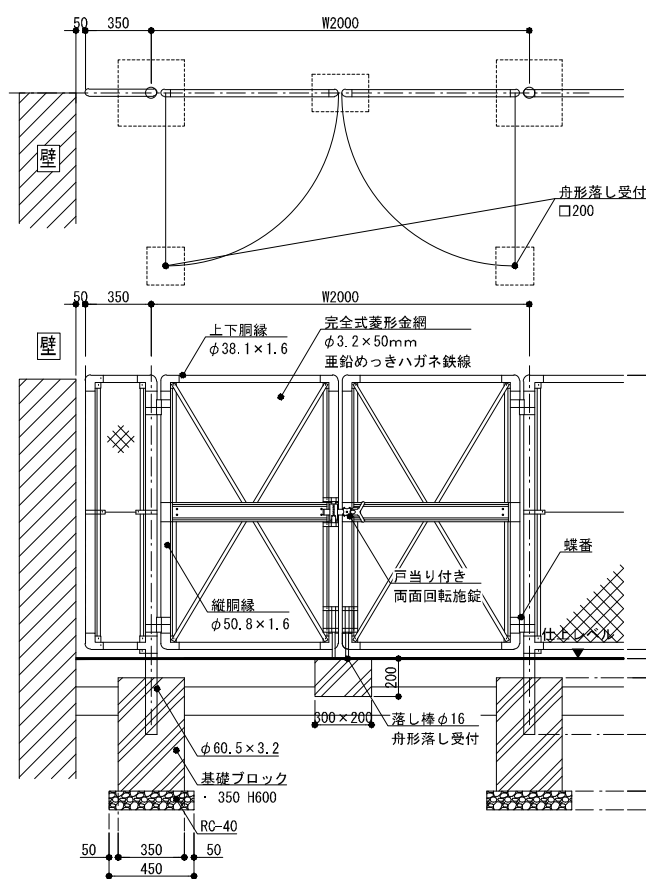
門扉-1立面図



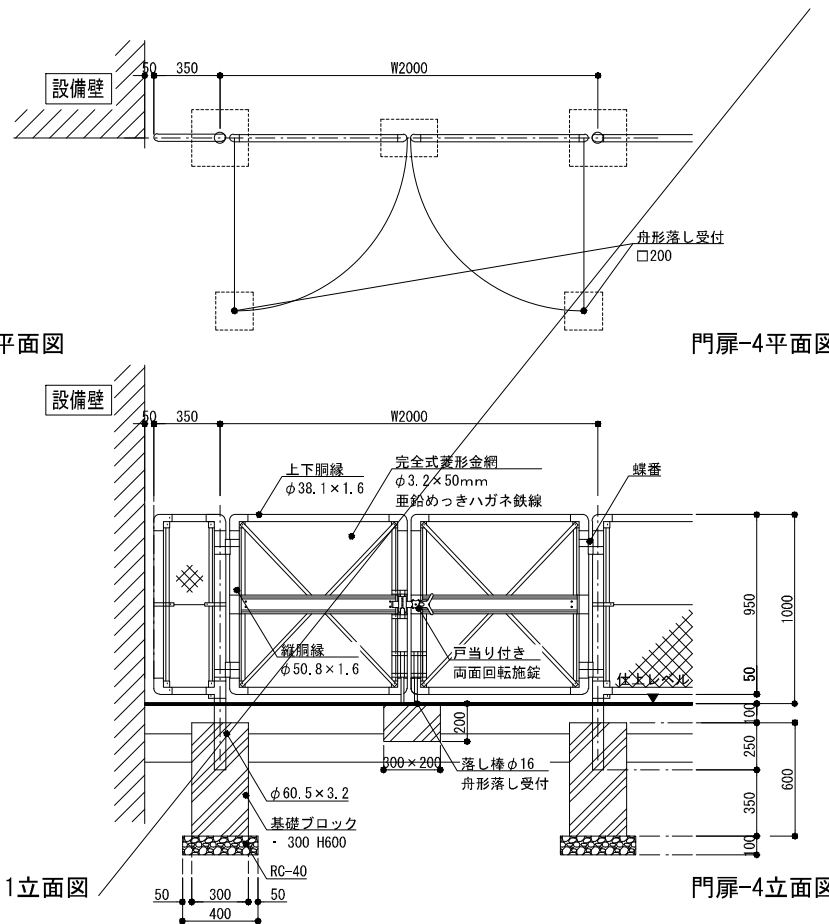
門扉-5立面図



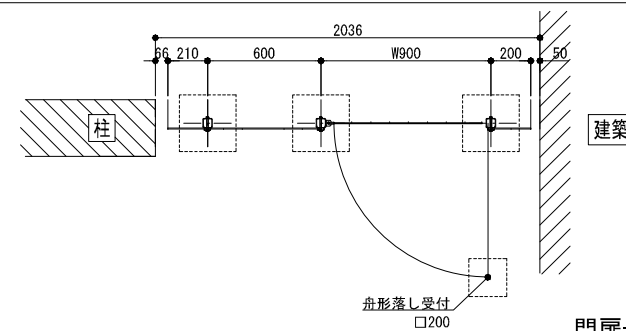
門扉-1, 2, 5, 6, 8, 11標準断面図



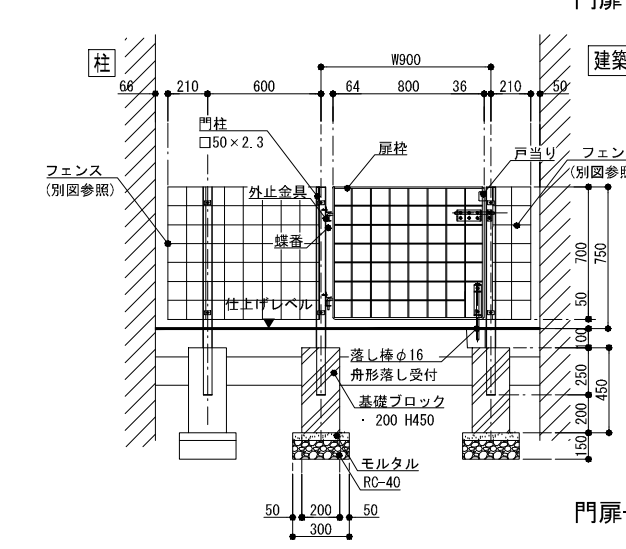
門扉-2, 5, 6, 8, 11立面図



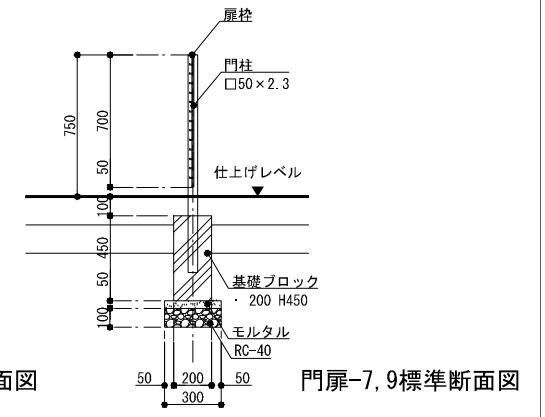
門扉-4立面図



門扉-7,9平面図



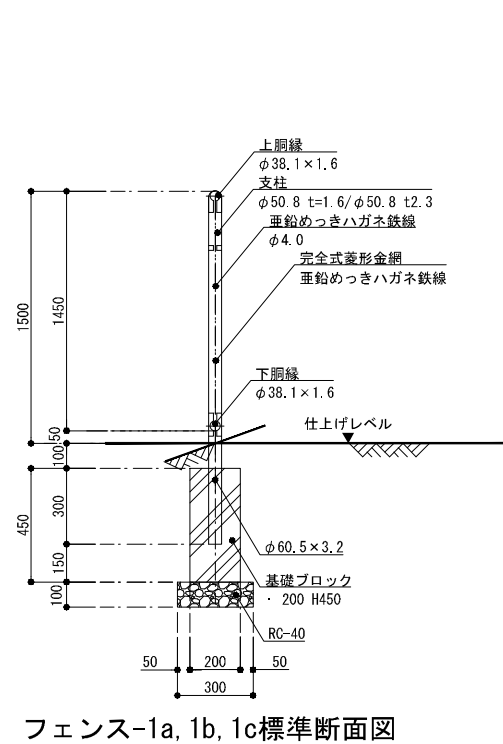
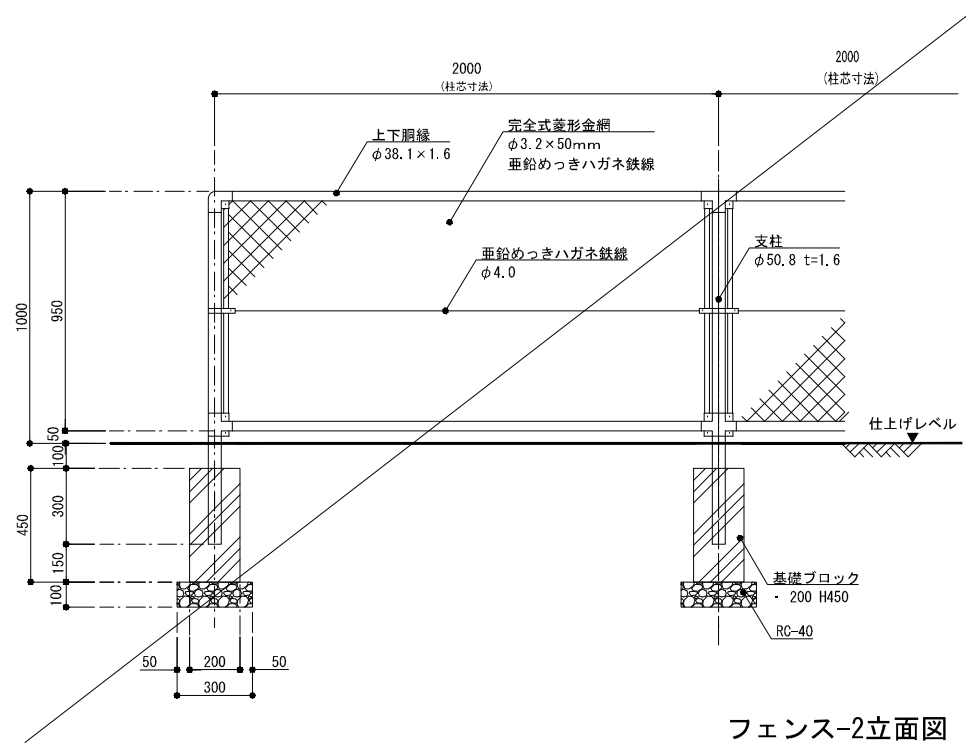
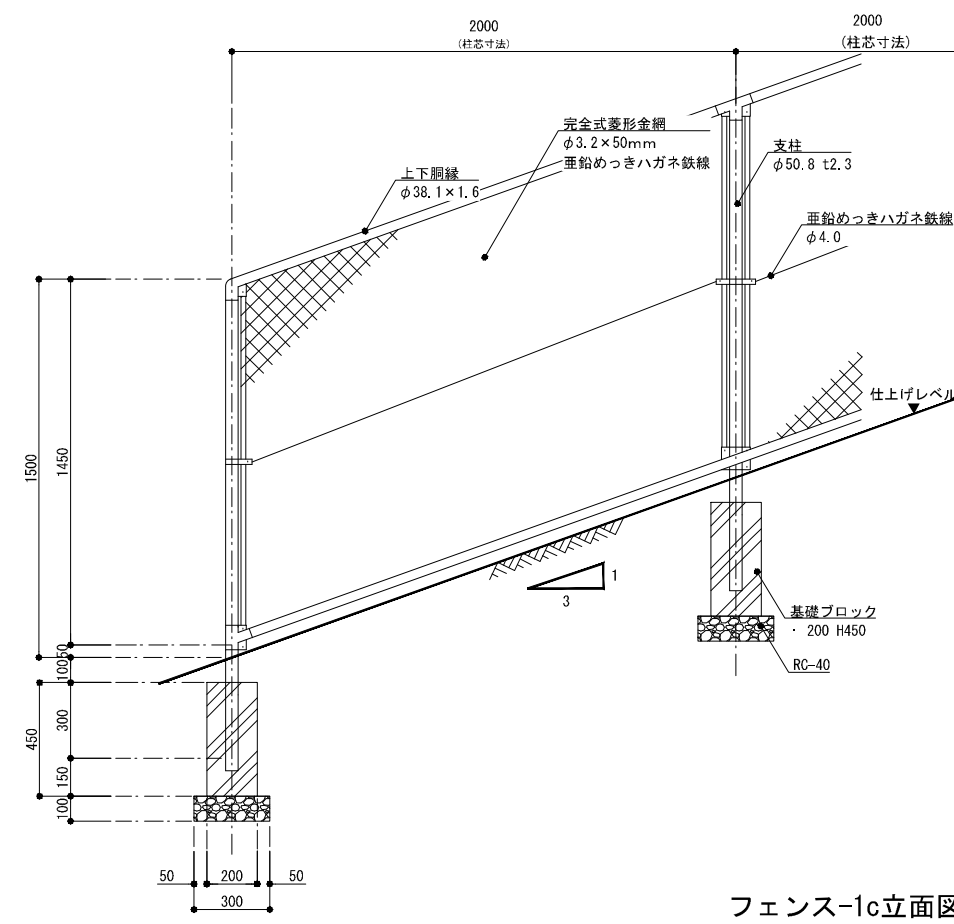
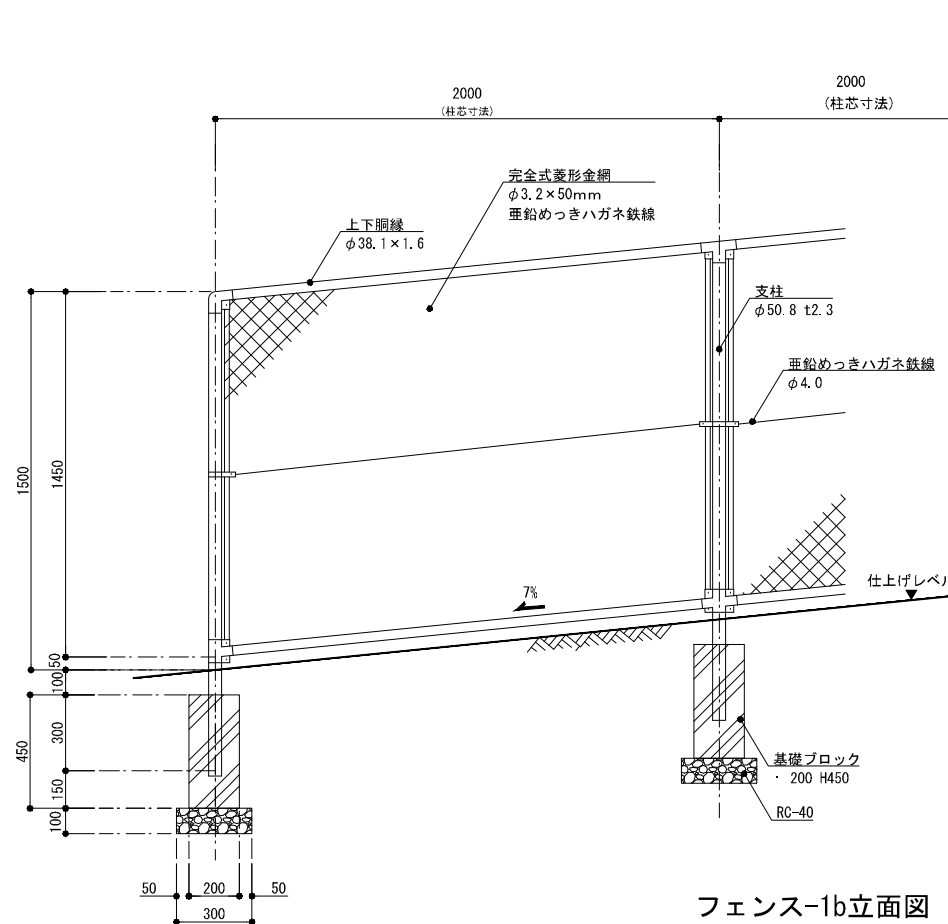
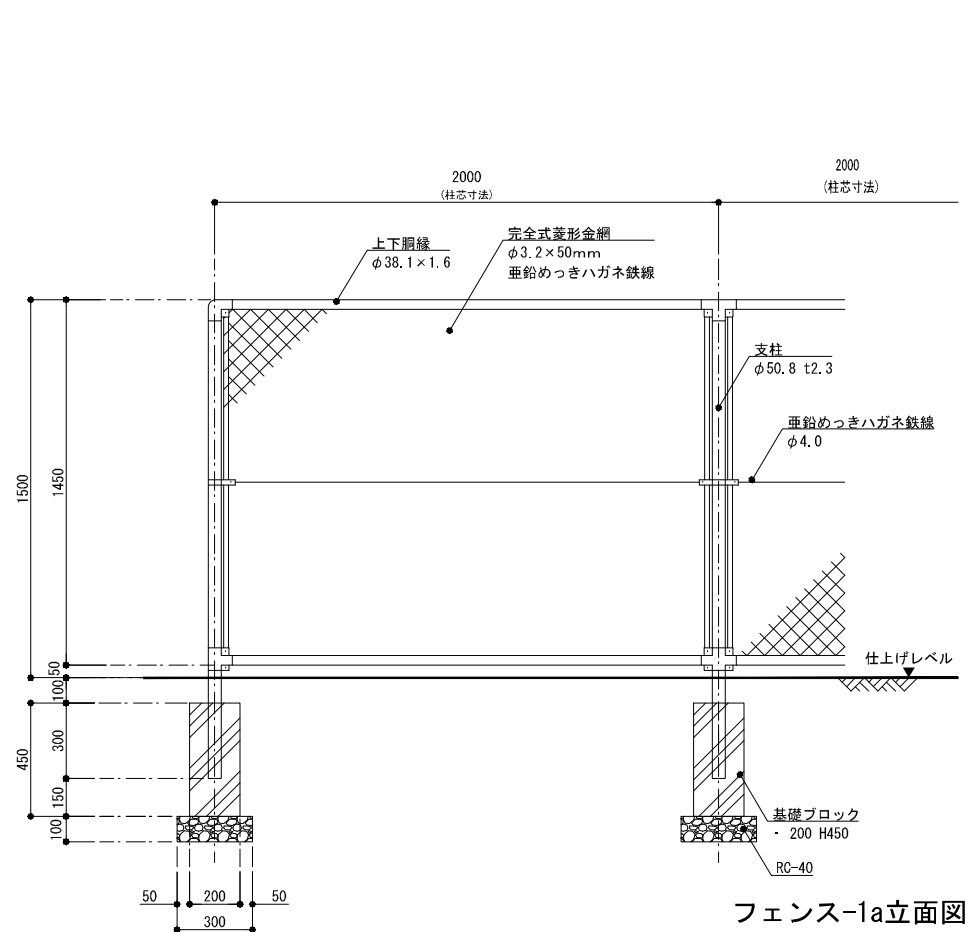
門扉-7,9立面図



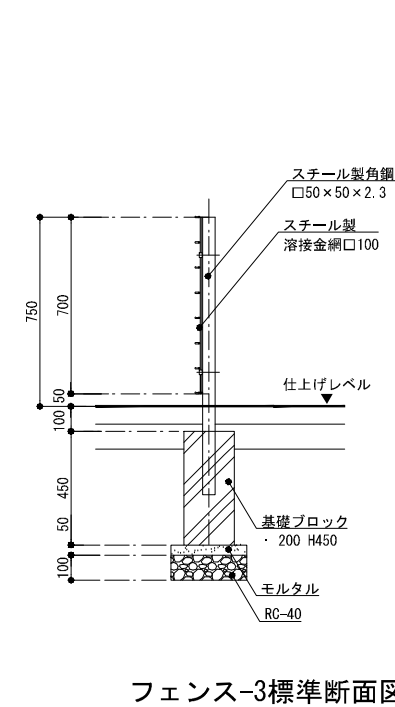
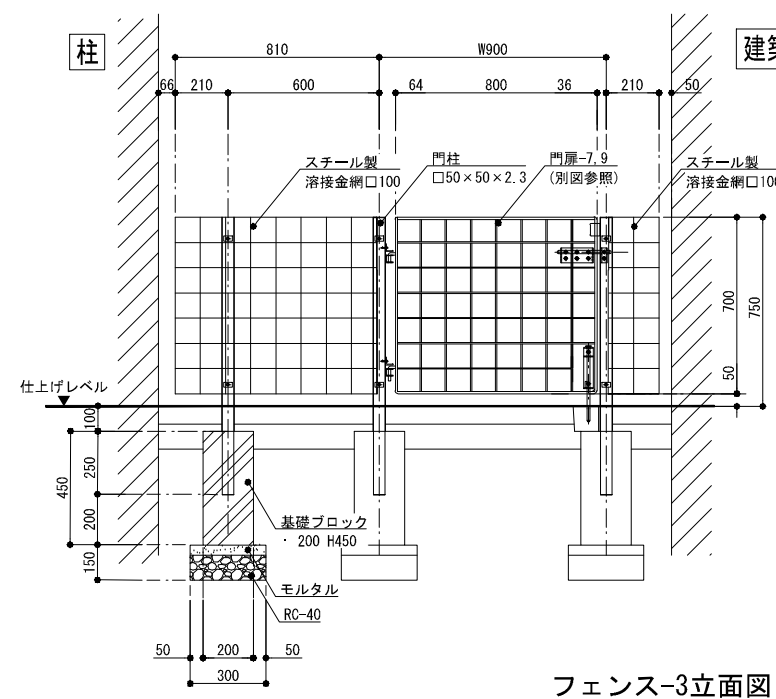
門扉-7,9標準断面図

※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
 ※溶接金網及び特記なき金属については溶融亜鉛メッキ仕上げとする
 ※門扉-1, 2, 3, 5, 6, 8, 10, 11については朝日スチール工業株式会社PCフェンスの製品と同等品以上とすること

※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
 ※溶接金網及び特記なき金属については溶融亜鉛メッキ仕上げとする
 ※門扉-7, 9については共和ハーモテック株式会社の製品と同等品以上とすること

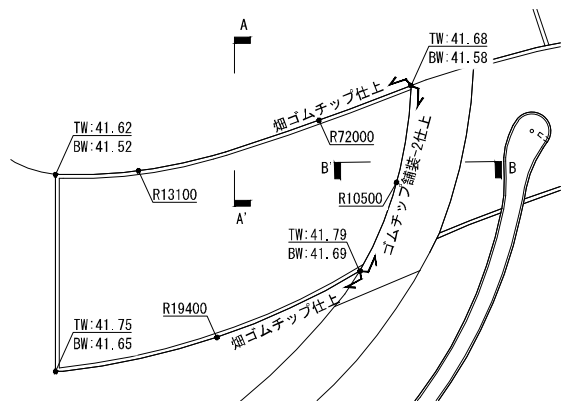


フェンス-3 外構工事A

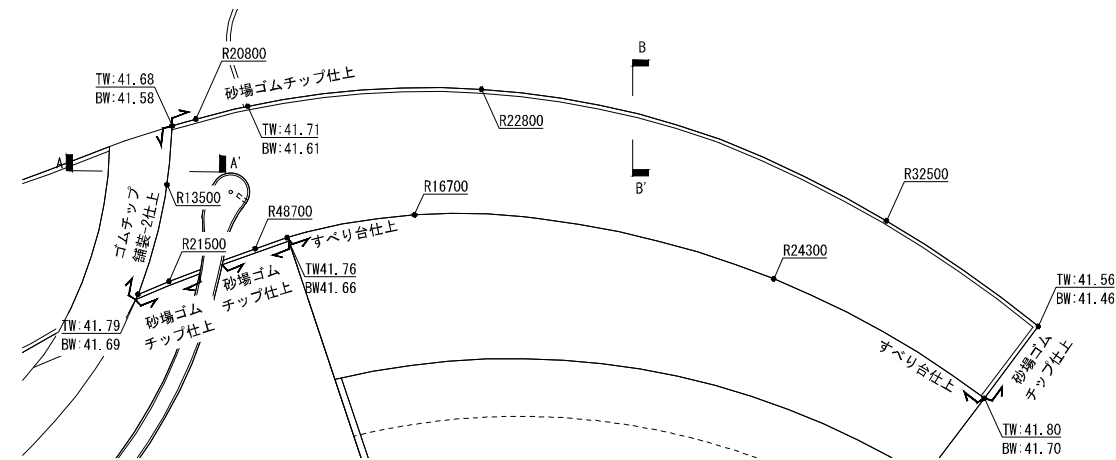


※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
 ※溶接金網及び特記なき金属については溶融亜鉛メッキ仕上げとする
 ※フェンス-1a, 1b, 1c, 2については朝日スチール工業株式会社PCフェンスの製品と同等品以上とすること

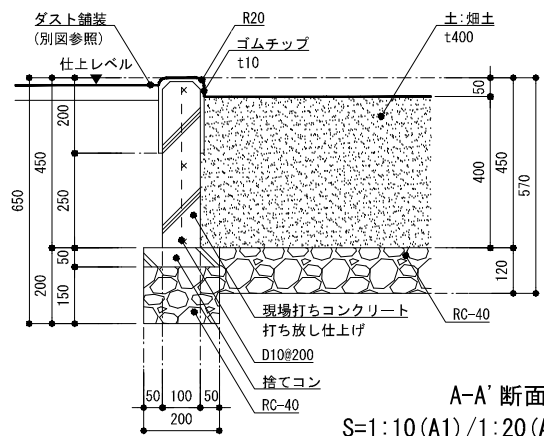
※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
 ※溶接金網及び特記なき金属については溶融亜鉛メッキ仕上げとする
 ※フェンス-3については共和ハーモテック株式会社の製品と同等品以上とすること



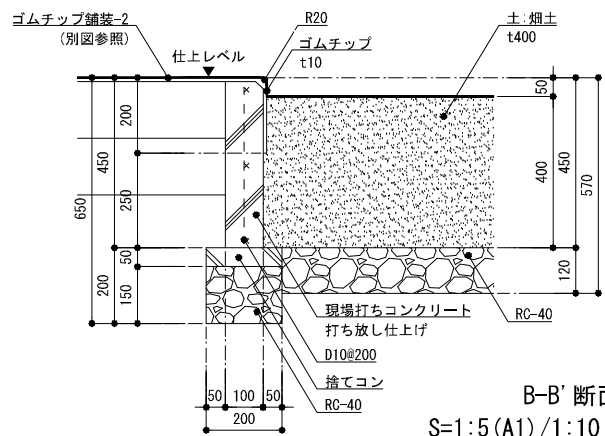
詳細平面図
S=1:100 (A1) / 1:200 (A3)



詳細平面図
S=1:100 (A1) / 1:200 (A3)

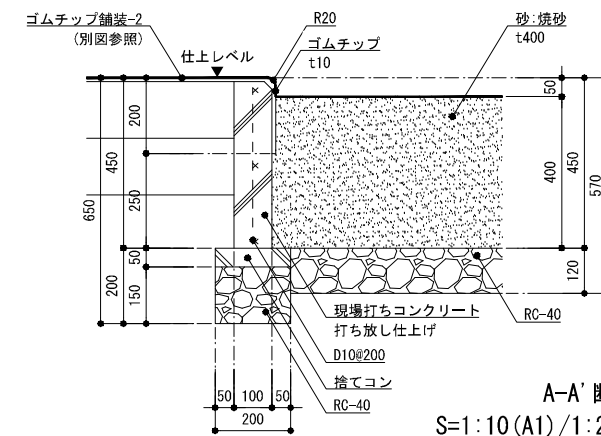


A-A' 断面図
S=1:10 (A1) / 1:20 (A3)

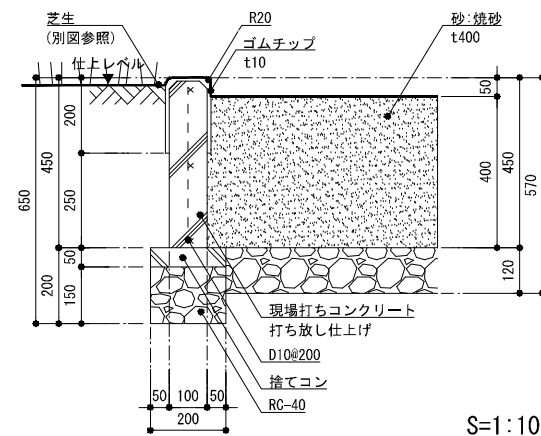


B-B' 断面図
S=1:5 (A1) / 1:10 (A3)

※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
※ゴムチップについては色サンプルを提出の上、監督員の確認を得ること

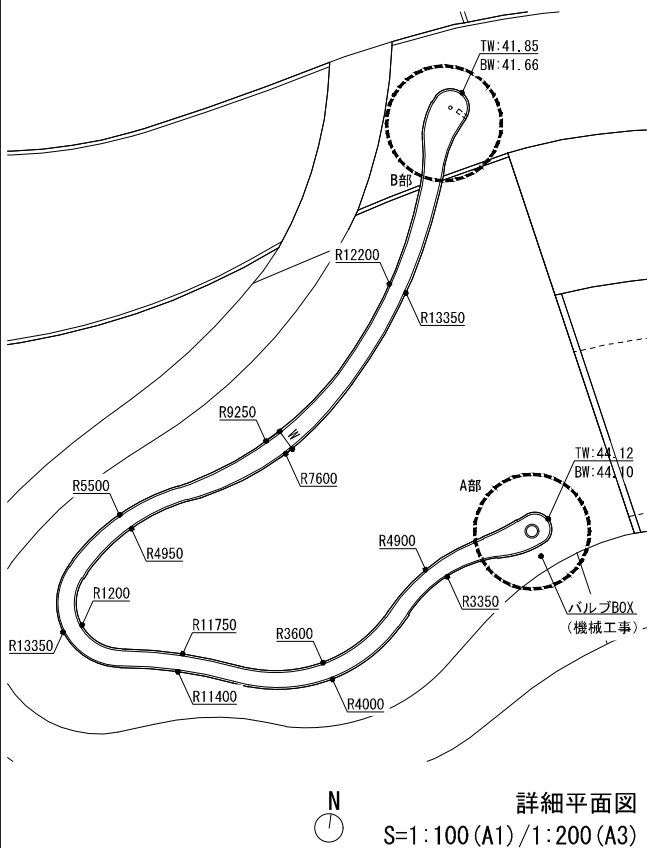


A-A' 断面図
S=1:10 (A1) / 1:20 (A3)

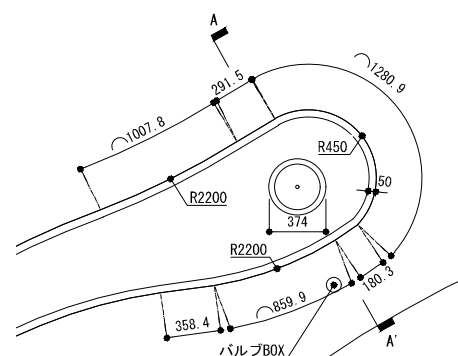


B-B' 断面図
S=1:10 (A1) / 1:20 (A3)

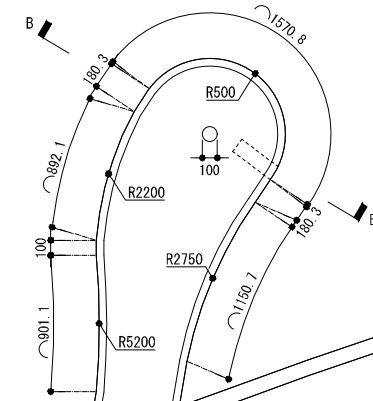
※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
※ゴムチップについては色サンプルを提出の上、監督員の確認を得ること



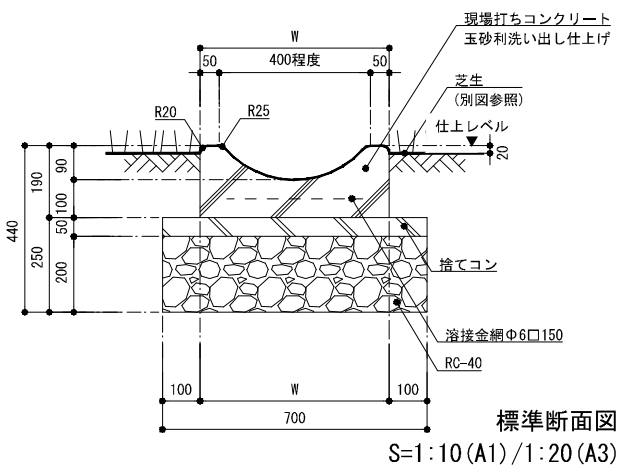
詳細平面図
S=1:100 (A1) / 1:200 (A3)



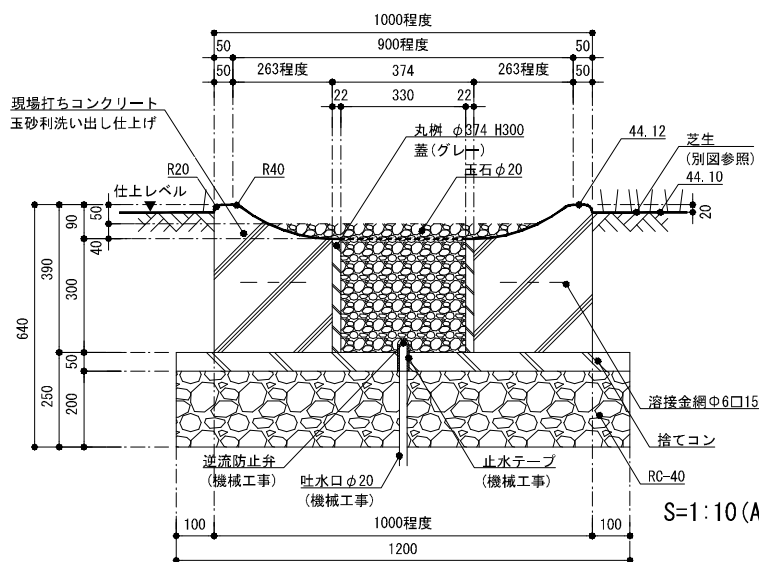
A部詳細平面図
S=1:25 (A1) / 1:50 (A3)



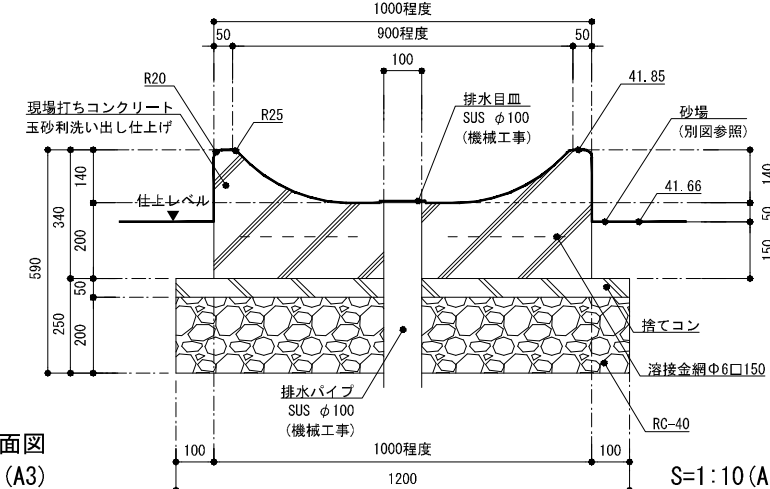
B部詳細平面図
S=1:25 (A1) / 1:50 (A3)



標準断面図
S=1:10 (A1) / 1:20 (A3)



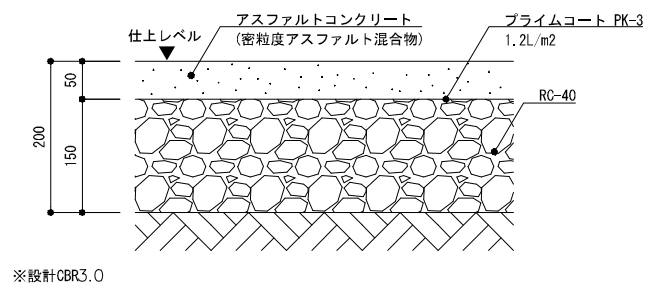
A-A' 断面図
S=1:10 (A1) / 1:20 (A3)



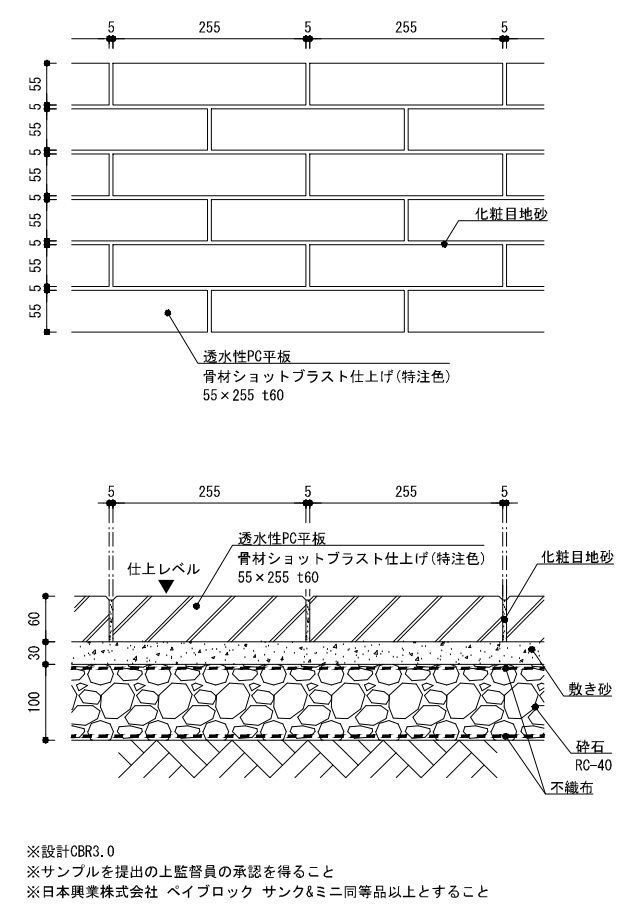
B-B' 断面図
S=1:10 (A1) / 1:20 (A3)

※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
※玉砂利洗い出し仕上についてはサンプルを提出の上、監督員の確認を得ること
※玉石についてはサンプルを提出の上、監督員の確認を得ること

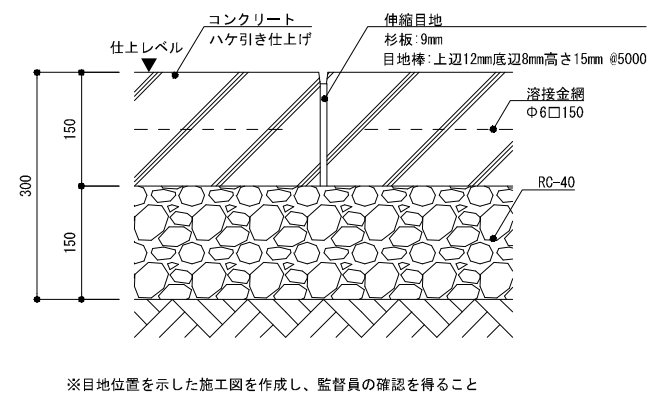
アスファルト舗装 外構工事C S=1:5 (A1)/1:10 (A3)



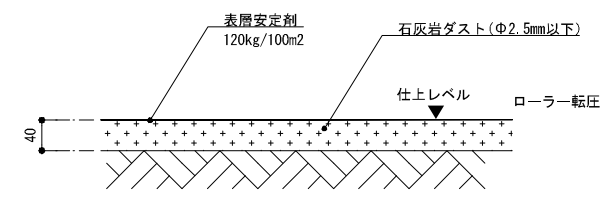
PC平板舗装 外構工事C S=1:5 (A1)/1:10 (A3)



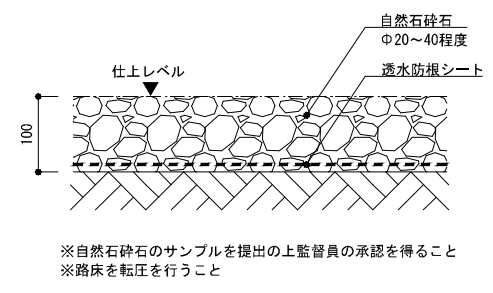
コンクリート舗装 外構工事A 一部B S=1:5 (A1)/1:10 (A3)



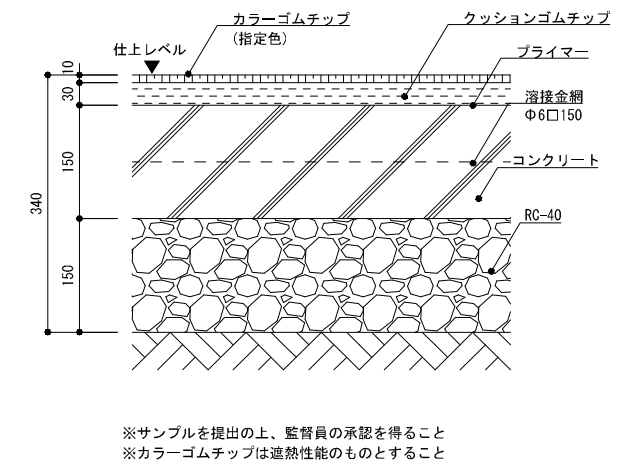
ダスト舗装 外構工事A S=1:5 (A1)/1:10 (A3)



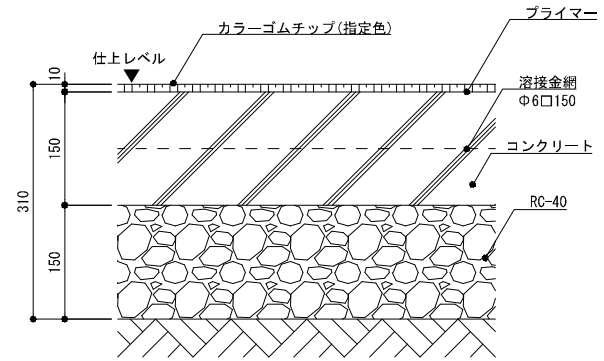
砂利敷 外構工事A S=1:5 (A1)/1:10 (A3)



ゴムチップ舗装-1 外構工事A S=1:5 (A1)/1:10 (A3)

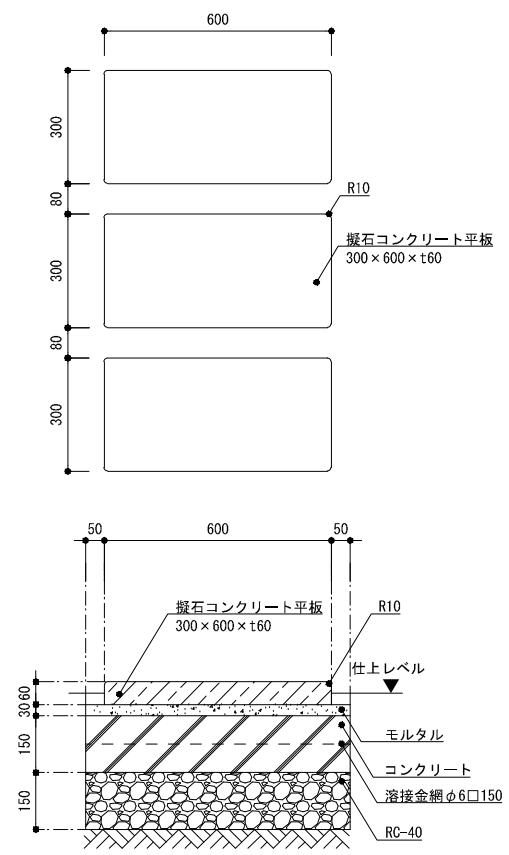


ゴムチップ舗装-2 外構工事A S=1:5(A1)/1:10(A3)



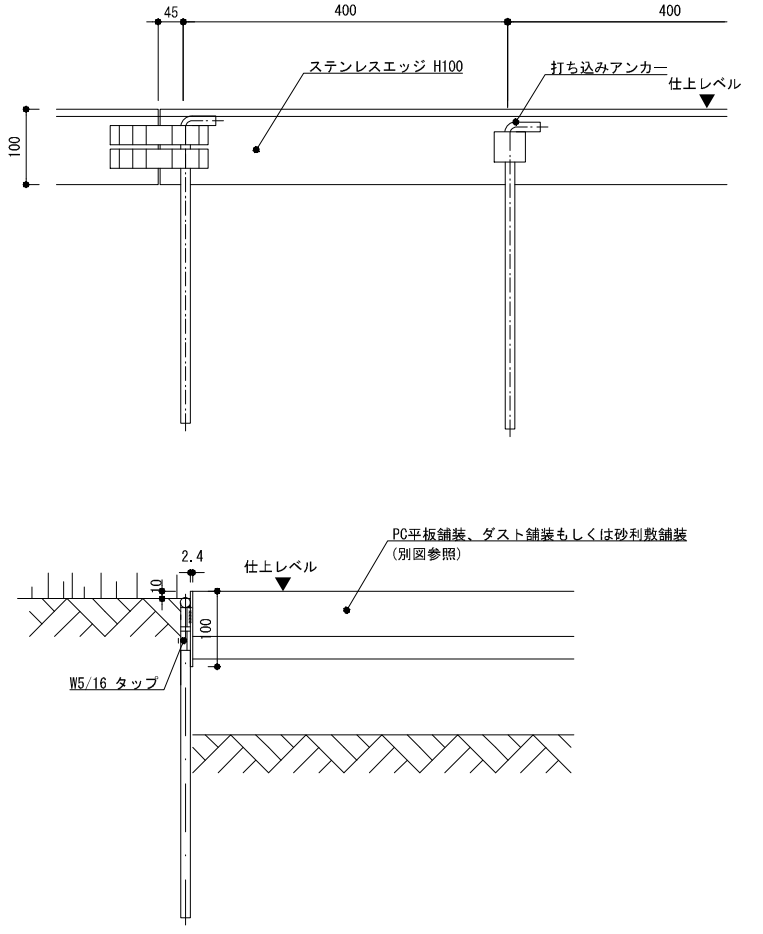
※サンプルを提出の上、監督員の承認を得ること
 ※カラーゴムチップは遮熱性能のものとする

飛石 外構工事A S=1:10(A1)/1:20(A3)



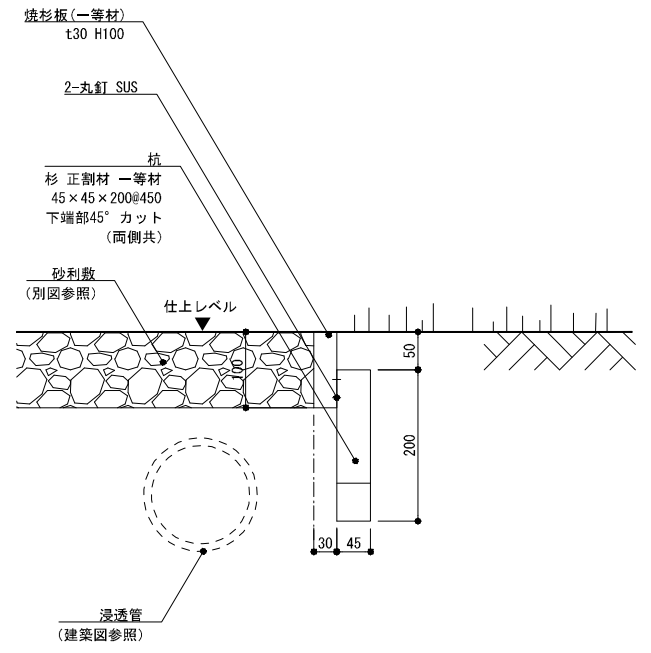
※石材のサンプルを提出の上監督員の承認を得ること

ステンレスエッジング 外構工事D S=1:5(A1)/1:10(A3)



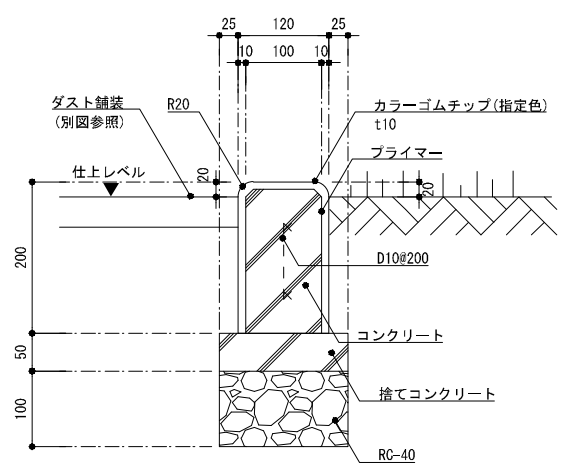
※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること
 ※第一機材製品同等品以上とすること

杉板エッジング 外構工事D S=1:5(A1)/1:10(A3)



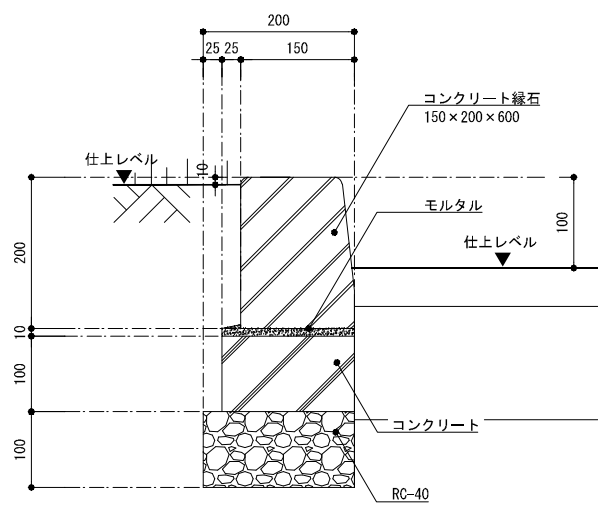
※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること

ゴムチップエッジング 外構工事A S=1:5(A1)/1:10(A3)



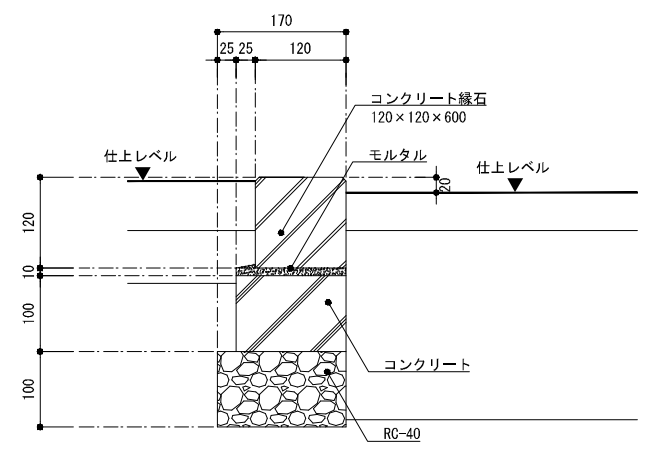
※ゴムチップはサンプルを提出の上、監督員の承認を得ること
 ※他要素との取り合いを詳細に示した施工図を作成し、監督員の確認を得ること

PC縁石-1 外構工事C S=1:5(A1)/1:10(A3)

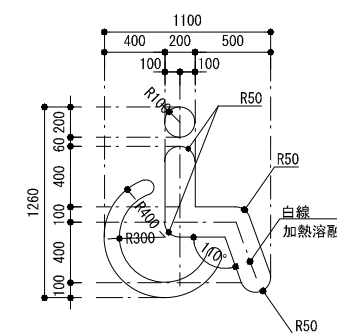
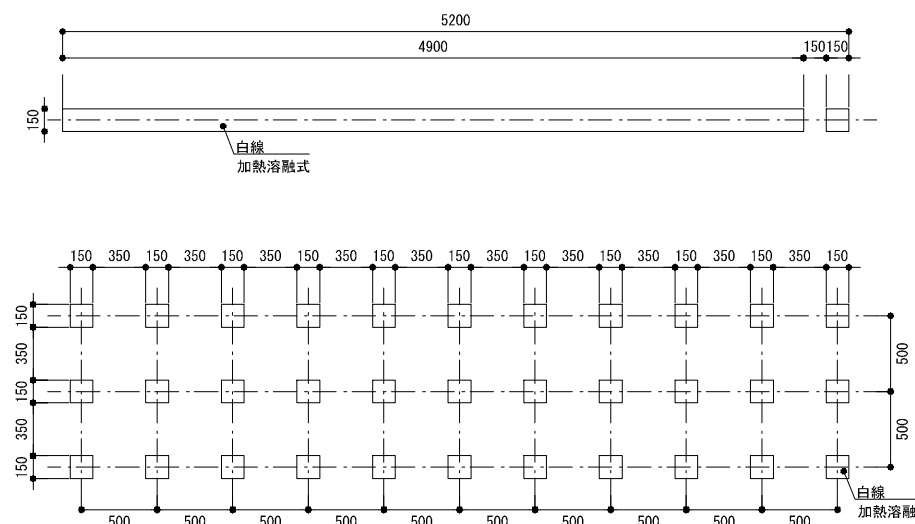
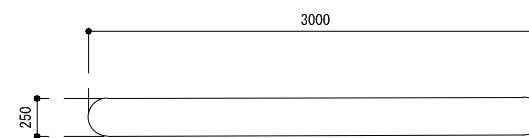
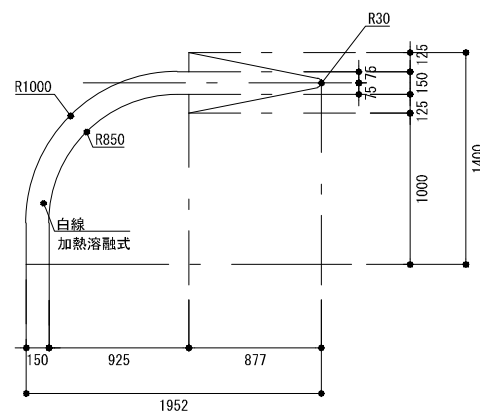
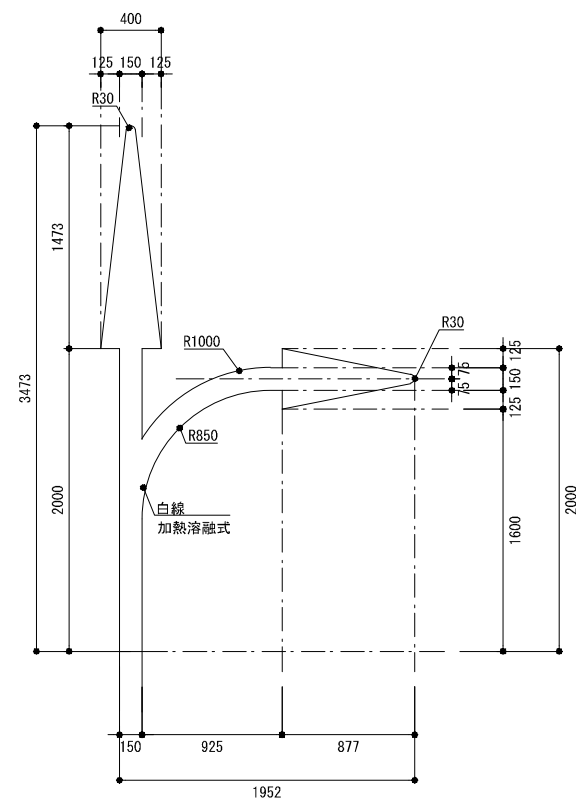
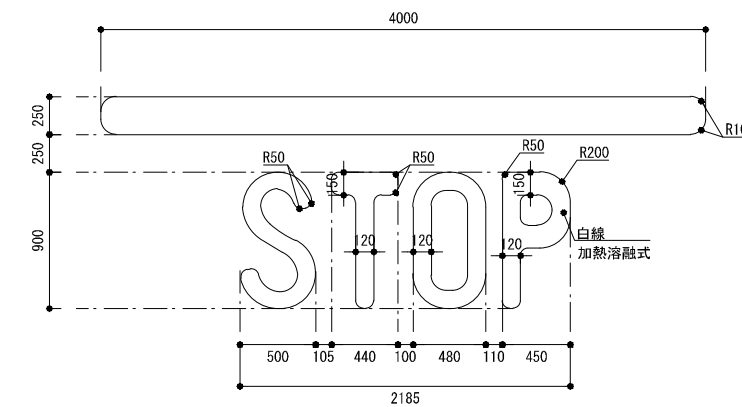
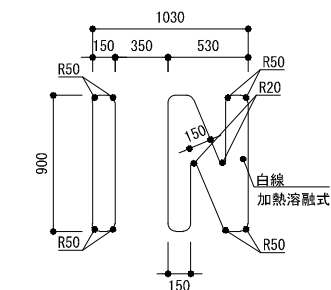
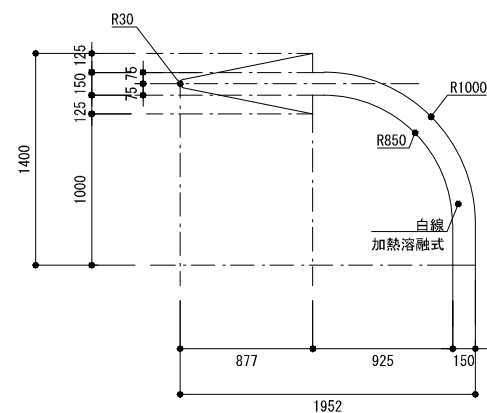
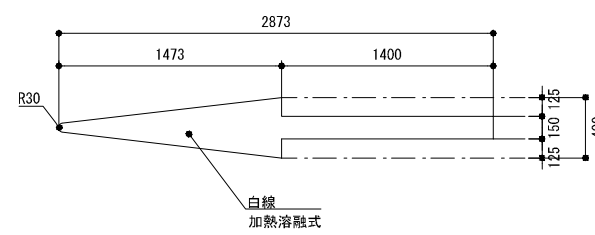
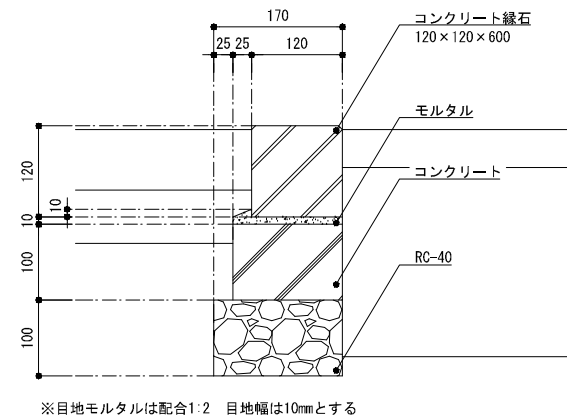


※目地モルタルは配合1:2 目地幅は10mmとする

PC縁石-2 外構工事C S=1:5(A1)/1:10(A3)



※目地モルタルは配合1:2 目地幅は10mmとする
 ※日本興業株式会社 ふち石地先境界タイプEC-120イナダ同等品以上とすること



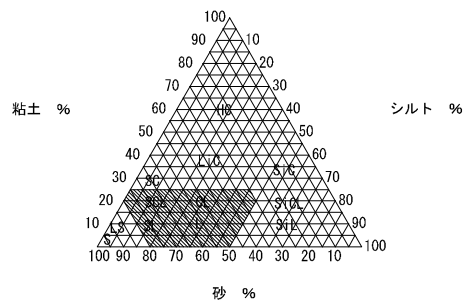
特記 外構工事D

01 一般共通事項

- 共通事項
 - ◎本特記事項は、各共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事と関連ある事項は、各々該当工事の記載事項を参照する。
- 疑義
 - ◎本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもって確かめておくものとする。
- 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。
- 材料試験
 - ◎本工事に使用する材料のうち、監督員より指示のあるものに関しては、その成績表または成分表を提出し、又は監督員の認める試験場で試験を行い、確認を受けなければならない。
 - 尚、試験に要する諸経費は、全て請負業者の負担とする。

02 土工事

- 客土材
 - ◎植栽の客土材については、購入土（黒土または畑土）とする。品質基準及び試験方法は以下の表による。雑草の種子等不純物の混入していないものとする。搬入前に成分表を提出し、監督員の承認を得ることとする。工期内及び引き渡し後6ヶ月以内に発生した雑草については全て除草を行う。



黒土

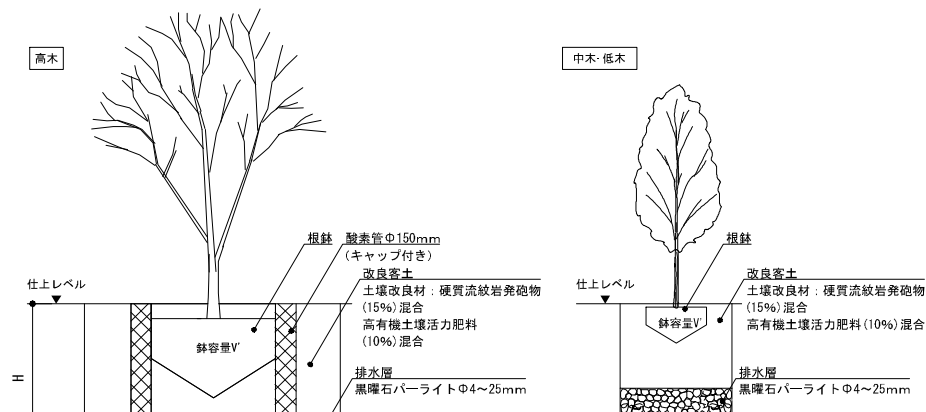
項目	基準値	試験方法
1 粒径組成	三角図表表示内	JIS A 1204（土の粒度試験方法）及び国際土壌学会法（土性三角表に表示）
2 飽和透水係数	10 ⁻⁴ cm/sec以上	定水位法又は変水位法
3 有効水分保持量 pF 1.8~3.0	80l/m ³ 以上	吸引法及び過心法
4 pH(H ₂ O)	5~7	ガラス電極法
5 腐植含有量	5%以上	チューリン法又はCNコーダー法
6 全窒素含有量	0.18%以上	ケルダール法又はCNコーダー法
7 塩基交換容量	15me/100g以上	セミクロ・ショレンベルジャー法

- 床掘りの残土
 - ◎本工事に伴う床掘り残土については、当敷地内にて処分するものとする。

03 植栽工

- 一般事項
 - ◎各樹木・低木は監督員の検査を受け、指定されたものを使用する。また、地被類は、枯葉等を取り除き、発育が盛んで乾燥していないものとする。
 - ◎かし（枯補償）：引き渡し後1年以内に枯死、枝条枯死、樹形不良等となった場合は、植栽した材料と同等またはそれ以上のものを請負者の負担において植え替える。但し、天災やその他のやむを得ない理由による場合は、協議の上処理方法を決定する。
 - ◎浸透試験：高木の各植穴は浸透試験を行う。試験は植穴満水後24時間を経て、水位-20cmとなったものを合格とする。水位が下がらなかった場合は、施工者の責任において適正な排水処理を施すようにすること。尚これにかかる費用は全て施工者負担とする。
- 土壌改良
 - ◎図示の通り。
 - ◎植栽用土：購入土
- 使用材料
 - ◎列植の高木については単幹とし、同一圃場にて生産された樹形の揃ったものとする。
 - ◎地下支持支柱については杭式地下支持支柱とし、強度計算書を提出すること。
 - ◎マルチング材は国内産広葉樹皮製とし、糊剤入りものとする。（山都屋・ハードマルチ同等以上）使用材料についてはサンプルを提出し、現場監督の確認を得ること。
 - ◎高木植栽の材料検査は事前に使用本数より多い数量の写真提出を行うこと。
- 灌水
 - ◎水ばちは設けず、必要に応じて保水材を加えること。
- 張芝植栽
 - ◎工期：ターフ形成100%において、監督員の承認を得るものとする。
 - ◎除草：適宜行い、ターフ形成を妨げないように注意する。

客土一覧

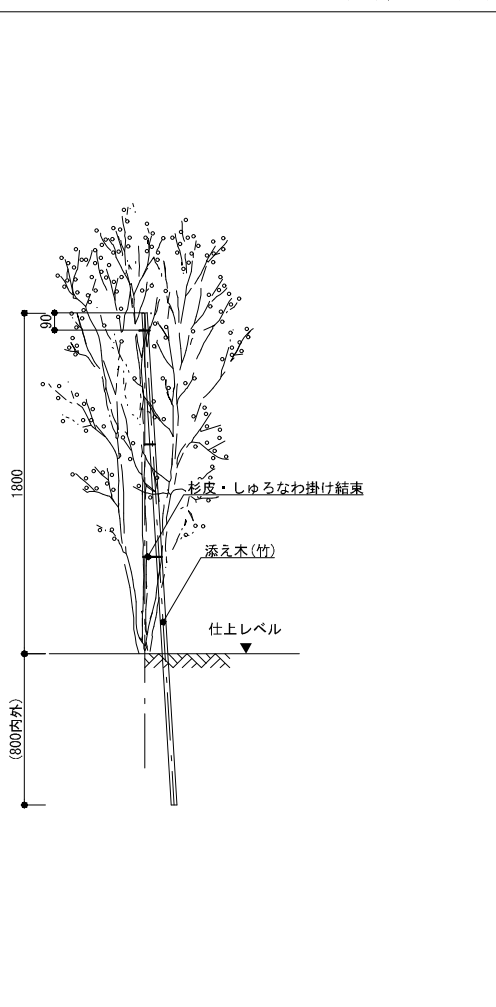


客土改良材混合比率(施肥量は1本当たり)

記号	V'	W	H	V	h	客土量 ※2		改良管 φ150		
						本数	長さ			
樹木形状寸法	鉢容量	植穴径	植穴深	植穴容量	排水層厚	排水層容量	客土量 ※2	改良管 ※3	本数	長さ
幹周 (cm)	m ³	m	m	m ³	m	リットル	m ³	m ³	本	m
15以上 20未満	0.061	0.870	0.360	0.329	0.100	59	0.209	0.167	2	0.6
20以上 25未満	0.110	0.990	0.630	0.517	0.100	77	0.330	0.260	2	1.0
25以上 30未満	0.170	1.110	0.990	0.747	0.100	97	0.490	0.373	2	1.0
30以上 35未満	0.210	1.170	0.770	0.921	0.150	161	0.550	0.499	2	1.0
35以上 45未満	0.490	1.410	0.900	1.574	0.150	234	0.840	0.853	3	1.0
45以上 60未満	0.740	1.710	1.050	2.624	0.150	344	1.540	1.447	3	1.5
60以上 75未満	1.320	2.070	1.290	4.373	0.200	673	2.380	2.985	4	1.5
75以上 90未満	2.080	2.430	1.530	6.609	0.250	1159	3.370	4.119	4	1.5
90以上 100未満	2.929	3.330	2.475	9.199	0.300	2564	7.475	4.119	4	2.5
樹高 (cm)	m ³	m	m	m ³	m	リットル	m ³	m ³	本	m
30以上 50未満	0.002	0.330	0.310	0.026	0.050	4	0.020	0.010	-	-
50以上 80未満	0.004	0.370	0.330	0.035	0.050	5	0.026	0.015	-	-
80以上 100未満	0.005	0.410	0.360	0.047	0.050	7	0.035	0.019	-	-
100以上 150未満	0.008	0.460	0.430	0.070	0.080	13	0.049	0.032	-	-
150以上 200未満	0.013	0.540	0.480	0.108	0.080	18	0.077	0.047	-	-

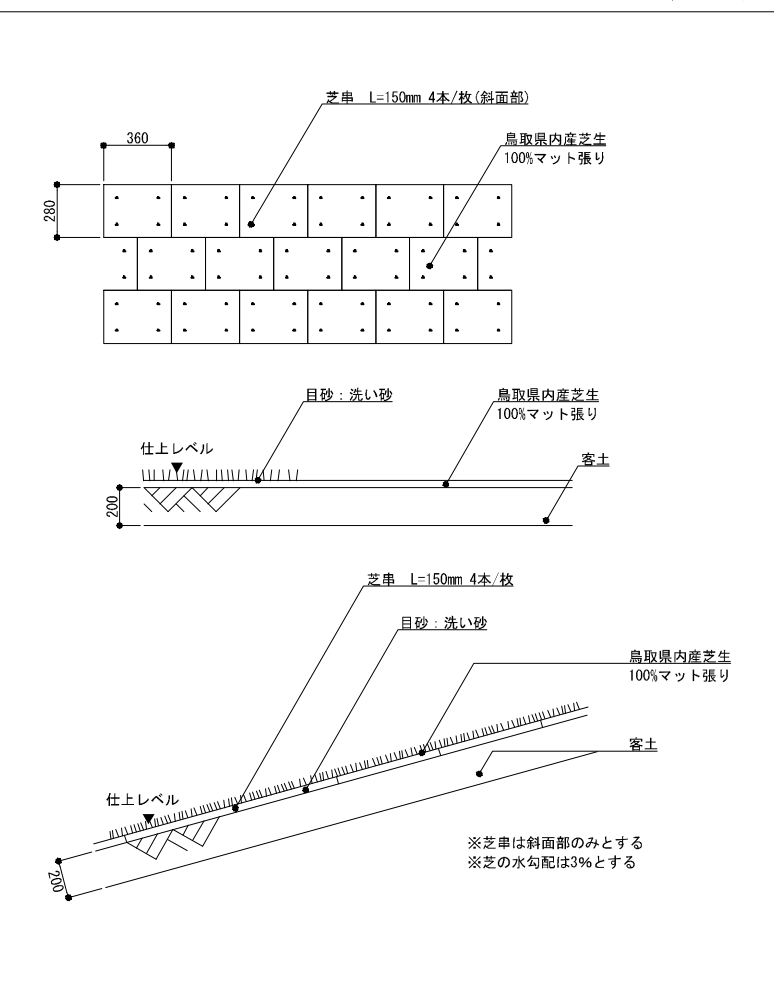
添木支柱

S=1:20 (A1)/1:40 (A3)



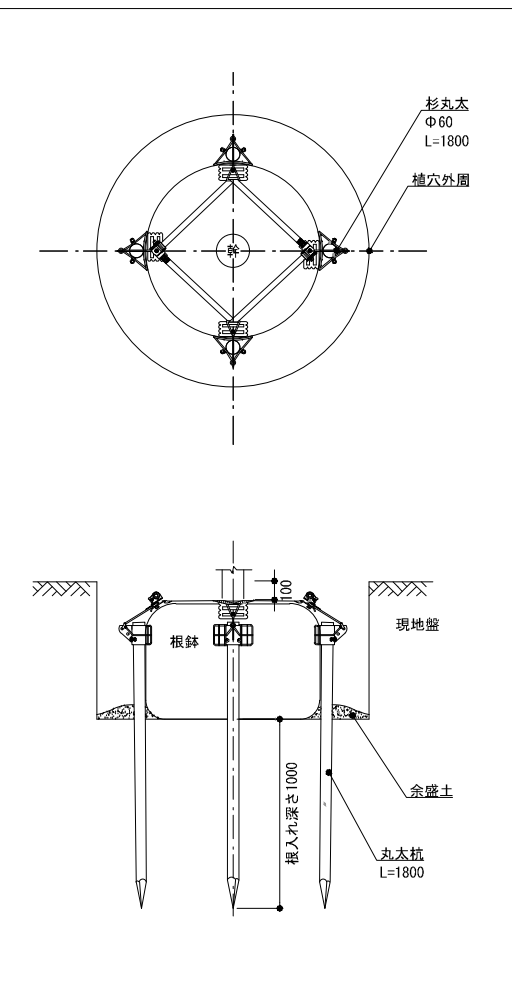
芝生

S=1:20 (A1)/1:40 (A3)



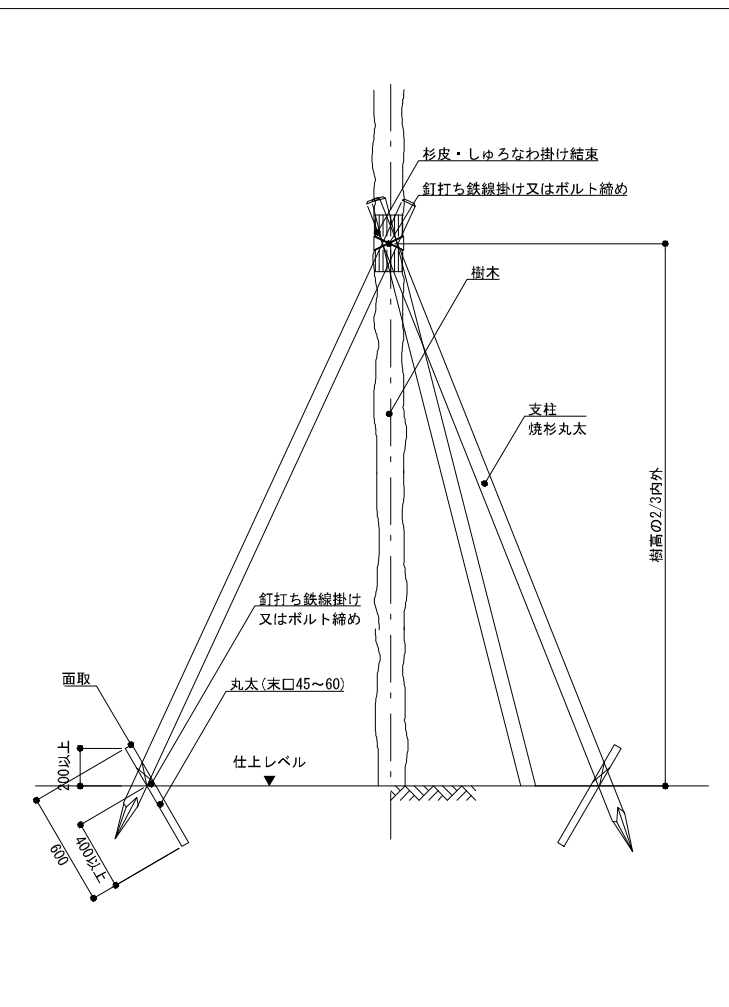
地下支持支柱

S=1:20 (A1)/1:40 (A3)



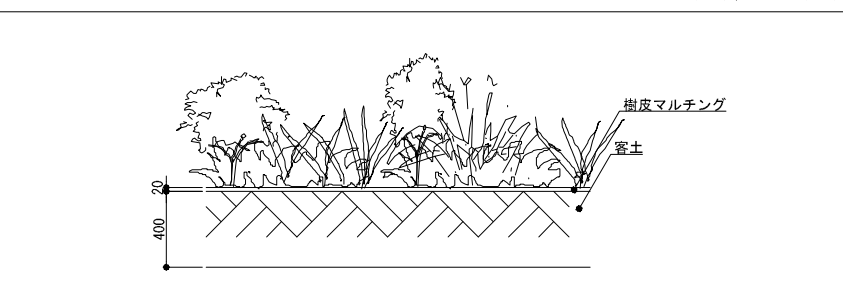
八掛け支柱

S=1:20 (A1)/1:40 (A3)



低木地被混植

S=1:20 (A1)/1:40 (A3)



生垣支柱

S=1:20 (A1)/1:40 (A3)

